京城日報

廿七日夕刊

發行所　京城日報社

唐紹儀愈辭表提出

唐紹儀氏は目下軍人派跋扈し國會に干渉し政府を蔑視するに付、假令入閣するも何事をも爲し得ずとの理由の下に外交總長辭職に決し今明日中總統府及び國務院に辭表提出の筈なり（北京特電）

▲其筋著電　其筋著電に據れば、唐紹儀氏は就任條件折合はず拒絶に決し辭表を提出したり（東京特電）

徐州會議の決議事項

二十二日開かれたる徐州會議には、倪嗣冲等最も強硬の態度を執りて現內閣の秕政を擧げ論議激越を極めたる結局國會を解散し舊約法を廢止し外交總長唐紹儀、內務總長孫洪伊、農商總長谷鍾秀、財務總長陳錦濤、司法總長張耀曾等を彈劾し、而して段內閣の崩壞後には徐世昌氏を總理に推薦することを決議せり（北京電報）

革命のクリート島　全く叛徒の手に歸す

雅典來電＝兵數三萬の革命軍はクリート島を完全に支配し居れり同島官憲は官衙建物の一切を叛徒の手に委ねたり（倫敦電報）

希臘對獨新通牒

雅典來電＝希臘政府は勃軍はフロリナにて希臘兵士一個中隊を捕獲せる事件に關し伯林政府に對し新通牒を送れる旨發表せられたり（倫敦電報）

八四艦隊　豫算全部認容

廿二日の閣議に於て確定したる大正六年度海軍省豫算は經常費四千九百萬圓餘臨時費五千五百萬圓餘總額一億六千萬圓餘なり尙ほ海軍補助費即ち八四艦隊改制の爲めに必要なる新艦艇製造追加費は既報の如く大藏省に於て全部之を認容したるが其の總額は二億六千萬圓餘なり（東京特電）

大藏所管豫算

大藏省所管に係る大藏省及內閣其他の六年度豫算は主計局の既定通廿二日の閣議に於て既に承認を經たるが其總額は約一億八千九百萬圓內新經費約一千二百萬圓也（東京特電）

農省豫算總額

農商務省明年度の豫算總額は二千二百四十六萬圓にして經常部七百五十五萬圓臨時部一千四百九十一萬圓なり（東京特電）

軍司令官動靜

廿五日羅南に來りし秋山軍司令官は羅南軍隊を視察したるが廿七日朝會寧へ向へり（淸津特電）

希くば公正の解決を　三線運賃問題の紛糾＝何ぞ朝鮮の有志は奮起せざるや＝某有力者談

三線聯絡運賃問題は迷宮の中に落込んで迂餘曲折歸著する處を知らぬ有樣である、此問題に付ては曩きに朝鮮鐵道當局として和田參事が徹底的に說明する所あり、其の所說は新聞に公にされ從て一般に周知された、抑も此の國家的重要問題は何日如何にして解決せらるべきか、現在に於ては未だ混沌として端睨す可らず捕提す能はざるの狀態に在り、動ともすれば感情、情實が地方的利害の爲めに帝都に跳梁して

▲國家的裁斷　の明鏡に一抹の黑影を塗り付け、爲めに國家永遠の大計を頓挫せしめんとするが如きは洵に昭代の咄々怪事ではないか、吾人は朝鮮と云ふ地方的感情を離れ帝國民としての立場より冷靜に公平に觀察し考量し判斷して、而して此の三線運賃問題は既に定められたる方針を實現し、朝鮮經由交通線を以て世界の大道とし、安奉線運賃距離比例制の適用せらるべきを至當なりとし、飽くまでも之を主張するものである、大連側の大聲呼號は大連の必要より出でたものであらう、乍併如何に大連方面が無理な要求をなしたとて

▲理非は曲ぐ可らず　歸著する所は自ら既に定まつて居る。但し世の中には番狂はせと云ふ事が有る三線問題が其の到達すべき目的地の既定するにも拘はらず如何なる風の吹き廻しでか思ひも寄らぬ方面へ流れぬとは限らない、若しも秤の分銅の盛り方で番狂はせが演ぜられむか然も其れに引換へて帝國の大陸政策即ち大連側の喜びや推して知るべしは根底より攪亂せられ、大連に於ける歡喜の祝鐘は却つて大陸發展の弔鐘を撞くの矛盾を見るに至るべきは豫め覺悟を要せずや。此問題は今や

▲斷頭的係爭問題　である　滿鐵側でも鐵道院鮮鐵側でも一たび乘り出した以上最早一歩も後へは退かれない行掛りになつて居る、到底妥協の餘地はない筈だ、從て如何に解決されるにしても怪我人は出來る犧牲なしには濟まされぬ經緯になつて居る。全體斯樣の問題の爲めに朝鮮と滿洲とが枘鑿相容れずして爭ふのは大なる間違である、帝國の大陸發展は朝鮮を基礎として計畫せらるべきは動かす可らざる大方針であるのに、一大連の利益の爲めに

▲朝鮮を犧牲　に供せんとするが如きは帝國の大陸策を邪道に導くものである、國家的利害の前には地方的利害を主張すべきでは無い、況んや三線運賃制は大連に對して何かく大打擊を與へる筈がなく、大連には自から大なる使命が懸つて居るに於てをや、吾人朝鮮に在る者は此の問題の成行に對しては嚴重に監視する責任がある、其の解決が不知數たるの間に於て朝鮮全體の識者は猛省して奮起せよ、商業會議所なぞは何をして居るか、何ぞ蹶起して公正の輿論勢力を作らざるや、朝鮮を木乃伊たらしめて甘んぜば即ち已む、苟くも朝鮮の日本帝國に於ける位地朝鮮の滿洲に對する關係、大陸政策に於ける朝鮮の立場を自覺し、朝鮮をして生動せしめむと欲せば、何ぞ潑剌として奮はざるや

總督府代表者　兒玉總務局長出席

十月五日より鐵道院に開催すべき三線連絡運賃問題協議に對する朝鮮總督府の代表出席者は總務局長兼鐵道局理事兒玉秀雄伯なるべく鐵道局よりは既報の如く大屋長官三本理事の兩氏出席折衝の任に當るべしと

大屋長官出發

鐵道局長官大屋權平同理事三本武重の兩氏は三線連絡運賃問題協議列席のため既報の如く二十七日午後七時五十分發列車にて東京に直行せり

稅關檢査課長會議

各稅關並に稅關出張所の檢査課長會議第二日は二十七日も午前九時より引續き總督府會議室に開會水口關稅課長度支部長官代理として議事を整理し午後三時過ぎ散會せり

西北鮮の演習　兩將軍の觀戰

朝鮮駐剳軍第十九師團の秋期機動演習は既報の如く十月六日より十日迄西鮮方面は沙里院黃州一帶の平野を中心とし又北鮮は羅南近郊に於て擧行の事に決定し居れるが立花師團長は四日龍山發西鮮演習の現場に至り市川堅太郎少將の統裁する平壤龍山兩聯隊對抗及び之れに龍山砲兵騎兵隊參加の演習を觀戰すべく又目下北鮮巡視中の秋山軍司令官安藤高級參謀等は羅南附近に於て大村信行少將の統裁する咸興羅南兩聯隊を基幹とし會寧工兵羅南砲兵騎兵隊の參加する演習の觀戰を行ふべきが各地の小守備隊は月末より順次勤作を開始し各地に小演習を行ふ由に付一兩日中より西北鮮は秋晴の野に轟く銃砲聲を聞き得べしと

川村元帥來鮮

元帥子爵川村景明氏は北滿洲に於ける遼陽師團が獨立守備隊の秋期機動演習觀戰の爲め十月二日朝東京出發三日夜釜山著四日午前八時五十分著列車にて入京朝鮮ホテルに入る由なるが同日及び五六の三日間滯在京城各方面視察七日朝元山に向ひ八日永興灣要塞及び市中巡察九日元山發京城著即夜出發十日朝安東著北行の旨或向きに通知ありたり

▲招宴及び出迎　川村元帥入京せば山縣政務總監は元帥を招待し盛宴を張るべく又高橋武官は二三日頃釜山へ出迎ひの爲め南下すべしと

元山軍旗奉拜式

歩兵第七十四聯隊の軍旗は二十四日午後六時三十分黃海丸にて入港し山田旗手捧持加藤聯隊長隨從、官民多數の奉迎を受け稅關棧橋より上陸し直ちに元山派遣一大隊本部に入り愈々翌二十五日午前九時より豫定の如く同營庭內に於て軍旗奉拜式は極めて嚴肅を極めて盛大に擧行せられたり即ち當日は地方官民有志並に實科女學校各小學校普通學校生徒等拜觀者多く各々其の位置に就くや大隊長室內に安置されありし軍旗は營庭の正面に奉出され一同の最敬禮終るや加藤聯隊長の訓示あり、次いで特に學生の爲め營庭の中央に出し順次拜觀せしめたり因に軍旗は二十七日元山出發咸興に歸營すべし

大田中學內定

明年より開校の豫定

總督府にては大正六年度豫算に忠南大田中學校新設經費を計上し既に同地開校の事內定し居れるが敷地の如き過般弓削學務課長同地に出張實地踏査の結果二三の候補地に付目下詮衡中なり尙ほ聞く所によれば學校の規模は略釜山中學と大差なきもの丶如く生徒は明年度より收容の筈也と

吉原總裁歸鮮

東上中なりし東拓總裁吉原三郎氏は二宮秘書役を隨へ二十六日午後東京出發歸鮮の途に就きたる旨同社に入電ありしが直行すれば二十八日夜著京の筈なれど多分釜山檢疫所に一日を費やすなるべく二十九日の歸任の事となるべしと

關野博士動靜

關野博士は二十二日來壤柳屋旅館に投宿目下滯在日々大同江面長檢洞附近の古墳調査に從事し居れるが已に廿五日迄に人夫每日七十五名宛を使役し五箇所の古墳を發掘したるが此發掘に依りて樂浪時代の煉瓦等を發見し博士は甚大の興味を以て調査研究に從事せられつゝあり博士の今回調査日數は二十日間にして其間大同江畔に於て十二個所の墳墓に付只管樂浪帶方高句麗の事跡を研究せる由にて是が爲めに本月末日には谷井文學士十月上旬には栗山文學士も內地より來壤博士と共に調査研究に從事する筈なりと而して博士が考證又は研究の爲發掘したる墳墓に對しては鄭重に復舊工事を施し尙其上に木標を建て調査終了の徵標となせり

國分長官出發

北鮮に於ける司法事務巡視の爲め國分司法部長官は深澤監獄課長帶同既報の如く二十七日午前南大門驛發元山に向へり

池田長官歸任

金剛山方面に出張中なりし池田遞信局長官神田副事務官は二十七日午後南大門著列車にて歸任したり

鈴木長官出府

入京中の慶尙北道長官鈴木隆氏は廿七日午後總督府を訪問事務の打合せをなせしが其の主要用向は大邱中學校問題に關するものなる由

三貴族開城行

伯爵李址鎔子爵李夏榮同李根澤の三貴族は相携へて廿七日午前九時十分發列車にて開城に向へり

府協議員委員會

京城府協議員會は二十六日開會の本會議に於て府豫算收支更正府規改正等の三案に就ては原勝一氏外四名の委員に附托となり居たるが二十七日午後一時より委員會を開會し理事者と打合せたる結果更に二十八日午前十時より諮問會議を開會委員長より報告ある可しと

龍山各町總代會

龍山市政問題に關する龍山各町總代大會は二十五日開會の筈なりしも會場の都合により二十七日に延期し同日午後六時半より元町本願寺に於て大會を開會し協議事項は前會の有志懇談會に於て大村發起人より報告したる十箇條の請願事項にして當夜も亦大村氏より議案の報告あり大村氏の起草したる其筋關係官廳宛の請願書に就いて出席者一同の贊同を得署名捺印を求めたる上著々實行に著手することゝなるべしと尙ほ運動方法に就ては極めて穩健を主とし專ら目的の貫徹に努力せん方針なりと

鹿兒島視察團歡迎

鹿兒島縣教育會主催の滿鮮學事視察團一行は二十八日午後七時三十分南大門驛著にて北より入京すべく京城に於ける鹿兒島縣人會にては二十九日午後六時より京城ホテルに於て一行を招待歡迎會を催すべく出席希望者は櫻井町一丁目池上要吉氏又は京城高等普通學校野田林氏宛申込まれたしと

兵庫縣視察團着發

一旦入京の上北行しゐたる兵庫縣農會主催朝鮮視察團一行は二十七日午前平壤發開城に來り人參其他市中を視察の後午後七時三十分南大門驛著入京山本旅館に投じ一泊の上二十八日午前八時半出發湖南線方面の農況視察に向ふべしと

元山

▲元山商議二大問題●既報の元山商議收入出豫算並に賦課徵收方法は大部分其筋の指示に基き削除又は修正する事となり廿五日午後三時より更に商業會議所樓上に於て開催されたる評議員會は出席者十二名（缺席十名）にて順次協議を進めたるが前記二件中に含める打綿檢査規則及び繩叺檢査規則に關する事項は本會議に於ける大問題なるが故に從つて二時間の長きに亘り審議の結果獨り元山のみにて實施するも理想の功果を擧ぐるに難しとなし不得止遂に一先づ之れを撤廢するに決したるもの丶如く而して該規則撤廢後の一般的施設其他に就ては恰も元山滯在中なる道長官に對し陳情すると同時に總督府當局に向ても同樣の手段に出づべしと

▲申道長官●去る廿二日北行歸任の途なりし申咸南道長官は永興に於ける鐵道開通式に列したる後山縣政務總監一行の送迎をなし二十四日は洗浦まで總監を送り元山愛媛館に滯在中のところ二十六日の便船にて新浦に向ひ更に與地狀況視察の途に就く豫定なりと

▲池田遞信局長官●二十三日山縣政務總監に隨伴し永興に向ひたる池田遞信局長官は永興より元山に到著後市內各所の視察をなし休憩の上同夜出帆の鏡城丸にて金剛山に向け出發し目下江原道溫井里に滯在中なるが多分二十七日元山入港の便船にて著元直ちに歸任の途に就く

平壤

▲工藤長官出張●平安南道工藤道長官は本月二十八日より十一日間の豫定にて江東成川陽德の各郡を視察し歸途元山に出で京元線にて京城に廻り歸任すべしと

▲十一會●平壤の社交機關たる十一會は二十五日午後七時より商業會議所樓上に九月會を開催し或る重要問題につき協議せり

▲演習と駄馬の徵發●步兵七十七聯隊は機動演習に付き平壤府に對し駄馬徵發其他軍用事務に付本月二十四日來打合はせを開始せり

▲兵庫縣視察團●兵庫縣視察團は本月廿六日午後三時鎭南浦より入壤

▲鹿兒島縣教育視察團●鹿兒島縣教育視察團は廿七日午後一時卅分著列車にて安東縣より入壤

▲平壤機業卒業式●平壤機業傳習所に於ては二十五日午後二時より卒業證書授與式擧行し從田第一部長は傳習所長として卒業生十八名に對し證書を授與し道長官代理として祝詞を朗讀し大同郡守又來賓を代表して祝詞を陳べ卒業生總代玄淑明流暢なる國語を以て答辭を陳べ午後二時四十分式を終れり

淸州

▲淸津貿易近況●淸津港本年の通過貿易は昨年間島地方農作物の一昨年に比し豐作にして農民の購買力增進したる結果輸入貨物の增進したると時局の影響として從來浦鹽方面に輸出されたる琿春大豆油の淸津を通過するに至りたると間島方面小豆類の出廻りし輸出の其前年に比し著しき增加を示したるとに依りて旁々輸入增額を示せり即ち一月より七月迄の輸入通過貨物は三十二萬三千五百三十一圓輸出通過貨物五萬六千六百六十三圓計卅八萬百九十四圓にして之を前年同期に比すれば輸入に於て八萬六千四百六十一圓輸出五萬三百四十二圓の激增を見たり會寧地方人士は會寧間島貿易の發展を計る爲め近く鐵道開通に依りて不通となるべき淸津會寧間三十餘哩の輕鐵を總理部に於て他に使用するあらば之を借り入れ會寧間島龍井村間に敷設せんとの計畫あり目下當局者に交渉中なるが愈々借用許可を得ば之が經營は日支合辦にて爲さん計畫なりと

▲遊廓地指定●淸津には從來特定せる遊廓地なかりしも今回咸北警務部に依り貸座敷營業地域を北星町の一部と指定せられたる指定地域は府の中央に位するも市街地より數百間を距てし僻谷地にて全部府有地なりし現在祝町幸町方面に散在せる貸座敷同樣の營業を爲すものは早晩新指定地に移轉せざるべからず其時期は未定なるも二三箇年の猶豫はあるもの丶如く尙ほ前記の如く東海岸漁港竣功と共に現在北星町にある市場は同所に移轉する爲に同地方は著しく市況の衰頹を來すべきも遊廓の地に指定されたる爲依然現在の市勢を維持すべし

仁川

▲府醫著任●岡山縣病院第二內科醫師白阪正吉氏は仁川府醫として聘せられ二十七日著仁●新花水里避病院詰となれり

▲半月貿易況●仁川に於ける本月十五日迄の通關額は移出百二萬千三百五圓輸移入七十四萬八百六十一圓合計百七十六萬二千六十六圓此れを八月同期に比すれば輸移出に於て二十萬九百三十二圓增輸移入に於て二萬九千四百四十七圓減なり重要貿易品中米牛皮は依然移出熾んなるも昨年同期に比すれば著しく減少し食鹽綿絲晒生シーチング金巾日本綿布は何れも輸移入激增したり然して輸移出超過はチーフーに向け八十九萬圓餘の人參輸出せられたるに依る者なりと

▲寄附千九百圓●仁川府に於ける廿七日午前十一時迄の防疫費寄附額は千九百六十五圓に達し百圓以上の寄附者左の如し

仁川米豆取引所五百圓、淺松太郎百圓、河野竹之助百圓、鬼頭兼二郎百圓、タウンセント二百圓

大邱

▲大邱電燈新機械運轉期●大邱電燈會社にては頃日來七十五キロの新機械据付中なりしが愈々工事竣工せしかば廿六日試運轉をなせしに成績良好なり三十日總督府檢査員來邱檢査の筈なれば愈々十月一日より該機械にて一般點燈をなすべし

▲慶北植桑獎勵●慶尙北道にては農家の副業として管內約二十二萬戶に對し一戶宛三十本の桑苗を植栽せしめ各戶養蠶事業の普及を圖らしむ可く昨年十二月管內十二郡に亘り桑苗を移植せしめしも農家は往々是を肯せざるものあり慶北道廳は是を遺憾として本年補植せしむ可き八郡に對しては能く其趣旨を了解せしむ可く通牒する所ありたり因みに該計畫實施養蠶從事の結果は各戶三斗の收繭あるとするも總計六萬六千石此の價格二百六十四萬圓に達すべしと

人事消息

▲澄山熙氏（淡湖農工支配人）　二十七日朝出發淸州忠州方面へ出張往復一週間の豫定

▲前田好雄氏（東亞煙草釜山販賣所長）　二十五日釜山發東京へ

▲小林勝氏（代議士）　同上　內地へ

▲岡田淸兵衛氏（釜山實業家）　二十六日內地より歸釜

▲伊藤敬作氏（大邱商業會議所會頭）　二十六日內地より歸邱

▲石垣孝次氏（朝鮮銀行釜山支店長）　二十七日入京

▲田中卯三氏（總督府事務官）　大和町二丁目虎疫發生地に立入りし爲め廿七日檢便の爲め官邸にて交通遮斷さる

▲神田喜三郎氏（遞信局副事務官）　池田長官に隨行廿七日午後歸任

▲和田一郎氏（土地調査局總務課長）　廿六日風邪にて引籠り廿七日より出勤

▲李紹植氏（子爵）　廿七日朝沙里院へ

▲三本武重氏（鐵道局理事）　廿七日夜出發東上

奉迎近道路大使閑院宮殿下　如水　江原　壽

天使東來航海門。淸光萬里寂寥村。奉迎奉送鴨江水。兩岸齋聲驚旅魂。

同上次如水韻　晉石　成田　碩

迎送驩聲滿海門。星槎八月過孤村。入秋霜葉紅於血。願以斯心慰旅魂。

俳　吟　無佛　陳人

忽、見、百、花、春、意、濃。寒、鷄、枯、木、又、三、冬。人、間、遊、戲、道、中、事。入、佛、入、魔、沒、蹤、跡。

■松禾より　碧　軒

戰勞より信川を經て松禾に著、黃海の名山九月山を右に見て、馬上秋野を十三里參り候（九月廿五日）

途上雜詠

地なすつて歸る乙鳥の横飛へり

秋耕に女も見ゆて栗の村

穗芒や馬叱られて登る坂

鷄の畑に遊ぶや秋の風

棗鈴なりに家を圍めり

社告

右は西鮮地方狀況視察の爲め出張致させ候間此段同方面愛讀者諸君に謹告仕候也

記者　日新國政

九月廿七日　京城日報社

撃つに撃たれぬ苦しみ

岡本候補生を―公主嶺衛戍病院に訪ふ

喇嘛蒼にて支那兵の射撃を蒙り負傷せる士官候補生岡本孝行君を衛戍病院に訪ふ君は徳島の産にして神戸中學を修へ昨年十二月志願して十七師團に入營候補生となり騎兵隊附として來れる未だ二十歳の青年である、訪問の記者に對し慨然として語て曰く「今回自分等一行に對し支那兵の射撃は蒙軍と見誤りたりとか或は日軍と心付かざりしとの樣々の噂あれど左樣の遁辭は吾等は毫も信ずる能はず我が軍は

▲一兵卒の進退も必ず日章旗を高く揭揚せざるなく一行は無論先頭に日章旗を樹て殊に近距離に接近し一行は支那語を解し居るが故に日本軍なるを大聲疾呼なし加ふるに白晝の事なれば決して見誤らるゝ事無し其の他彼れが日本軍と見誤り居らざる證憑は他にも種々歷然たるも軍隊に於て公表せられし以外に語るの自由を有せざるを以て甚だ遺憾なり自分の負傷せしは

▲最初敵の發砲 三三十發後なりと思ふ往々一彈飛來して私の乘馬の前頭を貫きたるより馬首を廻さんとする刹那又も一彈乘馬の臀部を貫きたる餘力を以て私の右足大腿部を貫きたり此の時馬の二彈の傷部と私の傷部とより迸る血しほは附近の雜草を紅に化せしめたり私は負傷と共に急ぎ喇嘛蒼目がけて馳走せしが馬は重傷自分は

▲片足の自由を失ひ居る事とて幾度か馬と共に倒れんとなしたるが馬を勵まし私も勇を鼓して漸く喇嘛蒼に來り救護せらるゝに至りたり負傷せしは喇嘛蒼より約一里先の無名村落附近にして若し負傷當時自分が落馬するか馬が斃るゝか何れにしても自分の生命は到底全からざりし事は前後の事情で明かなり幸ひ馬も斃れず自分も落馬せざりしは天佑にして一つは乘馬の剛健なりしにもよる事と今にして

▲當時の有樣を思ひ及ぼせば上森（乘馬の名）に多大の感謝をせざるべからず幸ひに二彈の重傷を蒙りし乘馬も恢復し私も愛一週間内に退院するを得るは何よりの喜びなり、世間では私等が發砲せざりしを非常に臆病者の如く云はれ居るならんが實際は臆病者程擊ちたいもので寧ろ擊つより擊たれぬ程苦しい事はあらざるなり、我れ／＼が擊たざる理由は何れ判明するの期あるべし」と差俯向きて撫然たり（寒天特信）

仁川の井戸を埋めて了う

無料給水＝三千五百戶＝漁船にも

虎疫の襲來と共に發生地の居住民が第一番に心配したのは飮料水から來る病毒傳播であつたが井水の極めて不良な仁川は最近に至つて漸く

■此缺陷に基く虎疫の流行に對する戰慄すべき種々の事實を發見した卽ち仁川には二十八萬立方尺七萬人分の給水能力を有する水道があるにも拘らず上水使用者は實に居住民三萬人に對し約四割内外に過ぎぬ他の六割の井水使用者は重に鮮人であるか此の井水なる者が地質の粗惡なると周圍の不潔な爲めに安母尼亞とか格魯兒とか其他の有害有機物が滲透して殆んど水質試驗の結果は飮用適良の者が無いとの事である殊に花平里、新花水里、寺町、外町、柳町、松林里、栗木里、金谷里等の如き土地に至つては

■極端に不良で 神經の過敏な内地人等は如何に渴すると雖も一掬して戰慄を催す程度の汚水であるから一度虎列拉菌が傳播せんか菌は水に隨つて地中に浸透し井水中に入つて懼る可き勢を以て蔓延するは瞭かな事である、此れを事實に徵するに富平里の井水に菌を發見した結果調査して見ると此の井水を使用した鮮人が全部虎列拉にかゝつてゐることを發見し今猖獗を極めつゝ有る仁川府中の各部落の井水は殆んど總てが菌を泛べない者のない狀態なるに至つては益々戀かざるを得ない、況んや上水使用者の多い内地人街に虎疫の侵入無くして單に九パーセント内外の使用歩合率の鮮人部落に

■患者發生頻々 なるに於てをやである、鮮人が今更に上水使用を望む念の強くなつたのも不思議とするに足らぬ、如上の如く井水は恐る可き虎疫の媒介者とも言ふ可き者であるから仁川警察署では廿四五日頃から總に危險區域内の井戸を封鎖或は消毒に着手し既に二十六日迄に百數十を處理し其れと共に府廳より水道事務所に交涉の上新花水里其他從來水道栓の敷設せざる松林里迄新たに鐵管を敷設して無料給水をする事になり

■二十六日迄に は既に三千五百戶に對し四五十の共用栓を解放し更に海上には穀物協會前、税關棧橋、同監視課前、花房町等に同日から二十七日に掛けて四個の給水管を敷設して漁船其他に無料給水を實行する事になつた

◆釋王寺の松茸

二三日前の降雨にて釋王寺茸山は松茸を始め雜茸夥しく生へ出たり京城の相場は數日前迄は一斤一圓八十錢位ゐ也しが目下出廻り殊の外多き爲め一躍一圓二十錢に下落したりと同山の松茸は今日までは應じ切れぬ程の注文にて全部京城に送り出され未だ元山の市場に廻す分は無かりし由なるも今後は漸々出廻るに至る可し兎に角過般來の降雨にて一時に生へ出したるものと見ゆ（元山）

初獵 鐵道局和田參事の獲物

初獵に鴫三百羽 西鮮の獵場

鐵道局では特に臨時客車の運轉をする

底も知れぬ大海の面のやうに碧く澄んだ秋空を衝いて立つ木の梢から、清爽な秋を讃美するかと思はれる百舌鳥の聲にも

▼狩獵の季節 が近づいた事を覺わる頃になつた、京城附近から南鮮へかけての獵季にはまだ三四日の間があるが、平安道の地方は既に獵季に入つた自分達の根據地の獵場が開かれるのに待ち切れず、拔けがけの一番槍に逸れ初陣の功名を擧げにしようといふ野心家が前週の日曜祭日邊から昨今にかけて停車場に見受けるが、その中の遠征組に鐵道部内切ての銃獵家を以て自ら任じてゐる總務課長の和田君を發見したのは

▼不思議では無かつたが二十三日から二十四日に亙る兩日に京義線に出掛けて鴫三百餘羽を獲つて得意滿面會心の笑を洩らしながら南大門驛に現はれたのは失禮ながら不思議の部に屬する方だが兎に角今年の京城狩獵界功名帳の初筆に錄す事に於いては何人も異存はあるまい、和田參事の談に曰く、京義線では白下の處新安州、定州、平南線では鎭南浦、廣梁灣附近に最も鴫が多い

▼雉獵は稍々 早期の感があるが之れ亦少なくないとの事である而して來月一日からは全鮮の銃獵を許さるゝから愈々遊獵家の世界となり、鐵道では昨年の如くこれ等狩獵家の便を圖りて毎日曜日に限り早曉南大門發京義線方面行貨物列車に客車を特に增結し開城の初發列車に接續せしめ又歸路も午後十時開城著の列車に接續する貨物列車に客車を增結する事になつた、一日行程の狩獵家はこの列車を利用せば新幕、沙里院邊迄出獵が出來るから便利なものだ、又其の外に關係各驛には犬箱備付の手配もしたとのことである、然して南大門驛から新幕までの狩獵列車の發著時間を揭げると左の通りになる

往		復	
南大門發	前二時四十分	新幕發	後七時一分
龍山發	同二時五十分	開城著	同十時一分
開城著	同五時十分	同發	同十時四十分
同發	同六時	龍山著	前一時廿八分
新幕著	同八時五十分	南大門著	同一時三十七分

全力を擧げて虎疫退治

感ずべき鮮民

仁川に於ける虎疫は日と共に猖獗を極めつゝ有るが衛生思想の幼稚な一般鮮人は當局が熱心防疫上の奬勵指導及び取締を勵行するにも拘らず當初は病者を隱蔽するとか死亡者を數日間手許に放置して居るとか

▲交通遮斷線 を脫出せんとする者等が所在に發見されたが病毒が全市街を襲ふに至りて非常に恐怖を催し個人衛生に對する自覺が非常に强く敏感になつて來且つ智識階級や中流以上の鮮人中には當局の防疫方針に準據して團體を組織し下級鮮人に對して衛生思想の普及、防疫施設の共同動作等に熱中して居る者が急に增加したのは大いに意を强うするに足る現象であらう中にも

▲米穀貿易を 中心とする鮮人側籾摺同業組合員紳商組合員仲買人等の組織に係る栗木里所在の勸行社は惡疫流行と共に多數の擔軍を指揮し同里一面に涉る大消毒を行ひ且つ救濟藥防の目的を以て防疫金を醵し目下虎疫終熄に全力を竭しつゝあるが其結果にや他の鮮人部落は殆んど交通を封鎖され居るにも拘らず同里は未だ憂ふべき狀態に陷らず

▲自由通行を 許されて居るが如きは一つに勸行社の自覺的活動の賜と言はねばならぬ、更らに京町通一帶の紳商宋門瑞氏の如きは危險地域内に於ける下級勞働者が戰慄すべき惡疫の襲來を享け且つ非常の貧苦に惱まされて居る慘狀を親しく睹て同情に堪へず薪炭其他の日用品を極貧者に施與すると共に栗木里に居宅を有する關係上

▲捕蠅器二百 個を購入して之れを里内各戶に配付するなど美擧多ければ里内は勿論、仁川居住者は非常に同氏の篤行に刺戟されて其後鮮人にして應分の寄附を申出る者續々ある由

■骨董鑑識は天才

高田實―大阪骨董商の話

故高田實氏と親交ありし大阪高麗橋筋の骨董商兒島嘉助氏は「私が高田君と交際してから十年になる初めて來た時お客として來たか友人として來たか[illegible]夫れとも母いにして貰ひ度くてくるのかさ[illegible]れし處高田は友人として交際して貰ひたいといふので夫れから以來今日迄親友となつてゐます君の骨董の鑑識は天才である今より七八年前骨董界有數の[illegible]入札の節無地グリンの急須一對が一つは東京の[illegible]へ一つは越前の福井のさる所へ別れて落札したのを君は態々福井迄出向いて一萬圓で買取[illegible]が其時骨董界は[illegible]なつたので君の[illegible]見に行いた又同じ福井の[illegible]がお客に[illegible]五千圓で買ひ取つたといふやうなこともありました[illegible]君は常に大匂玉を十個許り腰にさげてゐた[illegible]其後[illegible]次郎氏に[illegible]して[illegible]茶器[illegible]に就けつたが氏は君の[illegible]が欲しく[illegible]して了ひました（大阪支局）

千餘圓を盜む

江原道金化郡金内面泉洞居住支那人鹿錫憲外三名共營の雜貨屋に九月十九日夜何者か忍び入り現金二千百餘圓窃取したるより目下金化憲兵分隊にて犯人嚴探中

櫻丸入渠

關釜連絡船中の櫻丸は海事協會よりのチャーター船なるが廿六日より定期修繕の爲め入渠するに際し同協會の規定に依り長崎に廻航せしめ入渠すべき處目下同地は虎疫流行指定地なる爲め今回交代は下の關彥島に於て修繕する事となり同所に入渠せり（釜山）

コレラ彙報

▲井水使用禁止 京城市中の戒嚴區域とも見るべき櫻井町一、二丁目、本町三、四丁目、黃金町三、四丁目、若草町の各町は井水の使用危險なるを以て前記町内所在の水道官設共用栓十二個所は二十六日夕方より之を開放して自由に使用せしむることゝなり同時に井水の使用を嚴禁したり

▲大和町に發生 京城の虎疫は二十六日午後七時迄に大和町を襲ひ同一丁目二十四番地赤木商枝（三）は二十六日午後吐瀉したるを以て佐藤囑託醫檢診疑似患者として屆出に接し本町警察署防疫班出動して午後七時より同家の大消毒を爲し患者は卽時順化院に收容し附近八戶六十九名を隔離して健康診斷をなし午後九時半迄に終了せり

▲笠井町にも 廿六日午後一時半頃笠井町三十一番地洪永善（三二）が吐瀉を初めたるより本町署より宮地警察醫出張檢診し注意患者として順化院に收容家族其他九名に對して隔離の上交通を遮斷して健康診斷を行ひ同夜午前一時頃消毒を終れり

▲平壤の豫防注射 平南警務部にコレラ豫防液五千人分到着したれば道慈惠病院及び南浦府立病院にて豫防注射を行ふ由（平壤）

金牌受領 髮を黑く長くつやを出しさら／＼として髮の狂ひを防ぐ事妙 本椿香油

▲大同江の取締 平南警務部は大同江内に於て河水海水の使用並に漁撈游泳を禁じたるが漁業營業者は當分營業なしと（平壤）

▲仁川三百七名

終熄期に入る乎

仁川に於ける虎疫發生數は二十七日午前十時迄に三百七名に達したるが同日の發生數は纔かに二名のみなりと言へば或は流石猖獗を極めつゝ有りし仁川の虎疫も終熄期に入りたるには非ずやと各方面に喜色漲れり

▲船中に疑似患者 仁川港内に碇泊船乘込の川中末吉外二名の鮮人は二十五日午前二時頃激しき吐瀉を催したるより水上署より仁川警察醫出張檢便したるに疑似と決定直ちに收容船は檢疫所に於て大消毒を施したり

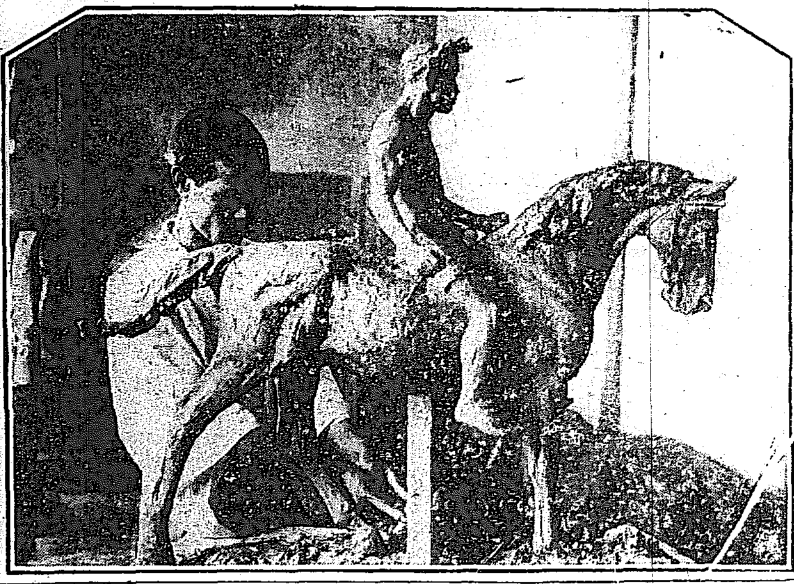
▲通學生へ注意 仁川より京城各中等學校に通學する學生は合計六十二名に達し當局にては學校當事者と共に之等通學生に對し健康狀態を嚴重に注意しつゝあり

▲保菌者發見す 二十三日發病死亡したる本町四丁目佐々木いしの夫佐々木道次郎（三七）は二十六日保菌者と決定し順化院に收容したる上午後六時半より同夜十時半迄同家の大消毒を勵行し一方附近隔離者に對し健康診斷をなしたり

□天勝の幕間に

衛生講話をやつた

虎疫流行以來釜山署にては海港檢疫に全力を注ぎ防疫事務に努めつゝあるが今日迄に三名の患者ありしも何れも其系統分明にして後を絕ち居れば釜山市民としては大いに悅ぶべき事と云ふべし今や木道内然かも釜山と尤も交通の頻繁なる方面には二十名以上の患者發生し益々猖獗甚しく釜山港民としては大いに注意を要すべきを以て橋本署長は公衆一般の集合せる活動寫眞或は芝居等を利用し防疫講演をなさんと二十二日第一著として天勝一座の興行中なる釜山座に於て其幕間を以て一場の衛生講演を試みたるが一般觀客は時節柄の事とて靜に聽講せり之れより隔日位に幸館、欲樂館等の活動寫眞の幕間にも講演せんとて兩館主に話を求めたりと



秋の文展（六） 馬＝池田勇八刻

平南方面警備 一線に於ける關係官署

課題及び募集規程

■募集規程 ▲用紙は總て唐紙又は洋紙一枚毎に紙上の雜號又は匿名の外に住所氏名明記の事

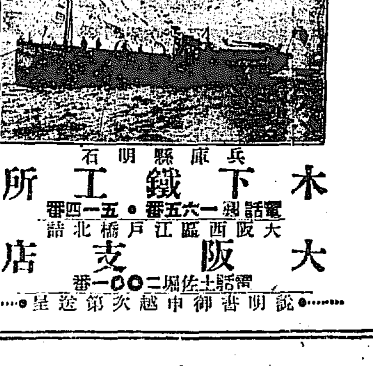
天氣 晴れ一時曇り（九月廿八日）

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

再製鹽 製造 販賣
關東洲鹽青島鹽直輸入販賣
大日本鹽業株式會社總代理店
仁川府本町二丁目四番地
合名會社 鈴木商店仁川出張所
電話長 八三番 受信略號（ジンセン、カネタツ） 發信略號 タツ又はタ
釜山府本町二丁目
同 合名會社 鈴木商店釜山出張所
電話長 七六二番 受信略號（フサン、カネタツ） 發信略號 タツ又はタ
原鹽再製鹽共常に多大の貯藏有之候に付如何に多數の御注文と雖ども總て充分なる安價を以て貴需に應じ可申候間多少に拘らず續々御注文仰付被下度奉希上候

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務社員募集
京城府東拓會社隣
電話一九〇八番（振替京城二五五〇番）

漁船 運搬船 其他船舶用機關として
大々好評を博しつゝあるセミツイーゼル原油機關
最新式



兵庫縣明石
木下鐵工所
電話一六五番・一五四番
大阪市西區江戸堀北詰
大阪支店
電話土佐堀二〇一番
說明書御申越次第送呈

會員募集
第十一號 一月十日發行
目下入會好機…至急申込あれ
時代に適應する良妻賢母を造る事を以て目的とす
講義錄本欄廿科目 特別欄每號數十頁
修了一ヶ年、質問自由、入會金卅錢
會費每月卅五錢、會則送呈
大日本婦人講義錄
現代婦人唯一の教育機關
▽會長 棚橋絢子
贊助員講師 瀨川博士、粟津博士、高島平三郎氏、内ケ崎文學士、吉岡彌生、宮田成女學校長、嘉悅孝子、山脇房子、小櫻井ちか子、柴武子、岸邊福雄其他數十名家
東京本郷區駒込千駄木町四十九 大日本婦人會 振替口座東京三三五一五番

電氣化學科特設（晝間）（夜間）
電氣學校
豫科一期二期本科一期二期本科一期選科受驗科
生徒募集 授業開始 十月十一日 規則書は申込次第郵送
豫科講義錄出版 校外生（特殊の通信教授）講習生（普通の通信教授）隨時入學
東京市神田區錦町二ノ一八 電話本局七九八・五一三〇

及び新聞記者を朝日館に招待し防疫上の打合せをなし同日午後二時歸任と同時に

頻々たるが俘氏は江華島在住のスミ

◎北漢山の 秋風に嘯く

△京城中學校の山登り

◇京城中學の健兒六百餘名は廿六日の早曉六時から學校を出て秋の北漢山に剛健の氣を養うて來た

◇柴崎校長先生曰く『近來コレラが流行するので生徒一般意氣消沈の傾きがあるから一つ汗をかいて腹掃除をやらうと思ひ北漢山の天風に嘯いた譯であるのである……』と剛健黨の元氣はなか〳〵以て素晴らしい

◇道は獨立門外から義州街道を進み北漢山の西側苔把撥里からそろそろ爪先あがりの山路となるが此の邊から濃厚た朝霧が罩れかけた

◇肩に水筒と辨當をさげた脚袢に草鞋がけの中學生は北漢山城の城壁に建てられた大西門から羊腸たる溪流に沿うた山徑を進んで行つた、道が狹いから一人づゝ魚貫して行くのである、木人先生の感吟に曰く…『魚貫一哩學徒霧を出で雲に入る』と

◇大中門から重興寺のあとに出づれば周圍は總てこれ突兀たる岩ばかりである、木人先生また曰く『北漢山足跡仰げば秋晴る〻』

◇午前十一時北漢山城の南門大成門でやう〳〵辨當にありつく『秋晴る〻』はよいが腹の北山何時ふくる〻と此處で七時間目に辨當を開く

◇斯くて歸つたのは午後の三時卅分、山の下り路は紅くなりかけた葛紅葉の岩角にからまりたると、すゝき、かるかや、桔梗、野菊が美しかつた廿七日も引きつゞき授業である剛健黨はめつたなことでは休みをとらぬ

◎秋の小鳥

△南へ移る渡り鳥

小鳥の美しい鳴聲を聽くのは每年春に限りますが霧やかすみで捕るのは頃日の秋に限ります京城附近の小鳥は主に內地のものと異らず、やまがら、しまこま、うぐゐす、ひがら、こがら、五十から、まひわ、みやまほじろ、つぐみなどが居ります、これ等の小鳥は雁鴨などと同じく氣候や餌の爲めて暖かい地方に移動しますので頃日の秋日和には愛禽家が山に行けばいろ〳〵な小鳥が捕れます一番よい時期はこれから先づ十一月までの間です

◎安東學校卒業式

安東小學校內高等學校にては二十七日午後七時より第四回卒業證書授與式を擧行したり

◎宮崎訓導の轉任 釜山第一公立尋常小學校訓導宮崎氏は今回京城日出公立小學校へ轉任、二十九日午前十時半の列車にて赴任すべし

◎牧田訓導著任 鹿兒島縣揖宿郡今泉小學校訓導牧田善吉氏は京城府南大門小學校訓導に任命廿六日著任せり

◎木浦小學校長旅行 木浦公立尋常小學校長吉村貫之氏は咸鏡方面視察の爲め新義州へ赴く筈

◎笹尾博士入京 巡回講演中なりし笹尾博士は二十七日午前八時南大門著入京

◎藤岡牧師平壤行 二十九日平壤に於けるメソヂスト教會部會へ出席の爲め二十六日南大門出發

神社とお寺と教會

◎松原總長巡錫 西本願寺朝鮮開教總監松原氏は北鮮地方巡錫の爲め二十七日夜南大門出發

○神理教會所（南山町） 廿七日より七日間毎日午前九時及び午後七時より鎮魂祭

○同分院（本町四） 同上

○東本願寺（南山町） 二十七日午後二時より婦人會例會あり同じく二十八日午前十時より總回向

○曹洞宗別院（若草町） 二十八日午後八時より御開山上人の大法會あり

あちらのこども（八）

東洋拓殖會社の出張所お土産談

◇お臺所のぞき 私はまたあちらの中流家庭の臺所も覗いて見ましたが◇あちらの臺所は極めて狹い所にキチンと整頓してありました非常に便利にできて居ます◇尤も水道もあり瓦斯もあり……

茶のあと

近頃天高く雁南へ歸る頃となつたから獵砲の天狗さん達は昨日あたりから銃砲の掃除に餘念ない△京城あたりから南鮮にかけては十月一日からが獵期となるが國境の咸鏡南道平安道あたりはモウ九月十五日から始まつた△某天狗のはなしによれば今年は例年に比し雨が多かつたから雉や鴨、鶉などは尠なからうとのこと△何故と申せば雨が多いので卵が腐敗するから聊か心配であると

どこその日のおかず

◎豚みそに 豚の赤身を大きく切りのまゝ湯がいて大方やはらかになりし時分に四分角位に切り鍋に酒を煮立て豚を入れ砂糖を加へ醬油を少しさして三四回煮立てゝ豚のみすくひ上げて其汁に白味噌のこしたるものとミリンとを入れて煉り前の豚を入れて和へ粉山椒をふりて出す（青木はつ子）

立太子禮の御式と全國の學校

△豐明殿の御宴は菊花と蘭を配したる御裝飾▽

◇立太子禮御期日は日一日と逼り、宮中賢所、朝集所の擬服工事も進みて諸々の御準備略これを終り昨今只管其佳き日を待ち奉りつゝある

◇立太子禮に於ける賢所大前の儀は御儀式の內の御本體とも申すべき嚴なる御儀なるが此內にありて皇后陛下には古雅なる御五衣御唐衣御裳に威儀を正し檜扇を執り給ひつ花の如き多くの女官を隨へさせられ御參列ある筈なれば御即位式よりも一入華かに美々しきこととなるべし

◇また豐明殿御宴の御裝飾は菊花と蘭を配したる御裝飾にて正殿朝見式には殿下には目も綾なる禮服を召し供奉の大官取り〳〵に華やかなる裝ひなりと申せば麗しき宮殿と相俟つて嚴かに又華やかなること限りなからんと承る

◇猶ほ立太子禮當日全國各中小學校は如何に奉祝すべきかに就き目下普通學務局長曰く『何しろ御大典に次ぐべき國家的の大典であるから先般來文部省で協議中で未だ確定して居ないが當日奉祝式を擧行せしめ君が代國歌を奉唱、教育勅語捧讀の後學校長より立太子禮に關する講話をなさしめ奉祝歌を歌はしむることゝなるであらう

◇此の立太子講話をなさしむるに付いては御大禮に際し清水法學博士の大禮要旨なる小冊子を全國學校に配布した例に倣ひ今回も立太子式の要旨を何人かに委囑の上資料として全國に配布の筈である

◇また奉祝唱歌は全國民より募集した方が宜いと云ふ意見であるから文部省の新作はやめたのである

◇猶ほ學習院では全生徒より天皇陛下並に皇太子殿下に對し奉り賀表を捧呈し又全生徒の自署になる美しき名簿を東宮殿下に獻上する筈である』

商況

東京株式特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

牛皮再び不味

見送り態度

最近約三圓方引下

盆皮の出廻り

綿布引締む

一頓挫 一朝輸出方面に

◎製茶益強硬

煎茶及二番茶又沸底

見込約三分作

◎五倍子高し

二十四五圓見當位 七八圓方の高

下關相場

京城白米

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

仁川期米

二十七日前場 大阪天候曇天 前寄十三圓九十九錢より二錢安の入電 二節九十六錢と小甘く

三巳仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目

依然保合ひ

手仕舞商內

前場の手振

續て動かず

双方牽制的商內

賣方の崩れ退く將て買方の投げ退き

皎點なる北國鎌入れ

鎌入不足報

樂觀説

當限の豫想

談成立已に肩代相

多少の異動

新甫待人氣

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 支配人 土居勝 電話二八三番

▲立會時間改正

仁川米豆取引所

廿七日の十一月限

賣買取組高

北濱だより

仲買店

小賣白米

確實 迅速 廣瀬仲買店

演藝案內

黃金館 電話 一八五二（階上） 二八三七（階下）

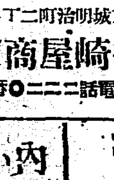
御成座 電話一九一 朝鮮新派劇元祖 革新團林聖九 一行毎日開演

大正館 櫻井町 電話八七三

有樂館 本町一丁目 電話二六六

黃金館 九月二十七日より特別大興行 勿見落再び來らず 終篇 名金と奈良勝の御名殘り興行!! ◎入場料金値上せず

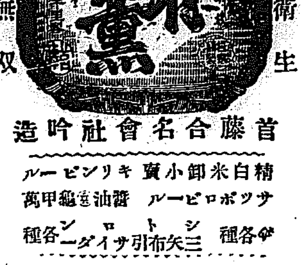
十二指腸蟲病 水田藥院 大邱府東城町 電話四六三番 說明書は往復葉書にて申込次第進呈



寫眞機 寫眞材料 京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二二〇番

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話九四〇番

醇良無双清酒



品質無双 無害衛生

首藤合名會社吟醸

精白米小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 甲州葡萄 各種 シトロン 三矢布引サイダー 各種

朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町（電話一一七一番）

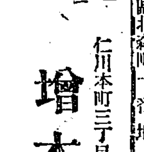
內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

最上醬油 京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

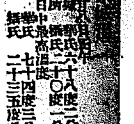
★資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候 電話長五八番 振替貯金京城一九四三番

コレラの豫防には臺灣總督府專賣局の方劑にして殺菌力の最も強大なる 後藤デシン を使用せらるゝに限る 後藤デシンは千倍の稀釋液にて優にコレラ菌を死滅せしむる特長あり ■本品は全國信用ある藥店にて販賣す

醇良清酒



仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番



男のひみつ病 東京京橋木材木町三ノ廿五 東京新療法研究所 大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

宮本武藏

第百七十一回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本此體を見るより　武『天晴なるぞ左門早く刺息』をといふ言葉の下に左門懐中から父の戒名を記した紙片を出だし、其れを一刀の柄に捲いてブツーリ刺息を刺し、お雪も一太刀刺してホツと一息吐いた、左門が此時長束の頸の廻りを見ると咽喉の脇に一本小柄が刺してある、之れは宮本が助勢のため打つた手裏劍で、人目には少しも知れないやうに隠して打つてある、之れを見て左門お雪今更のやうに武藏の志を感謝しました、之れは人目に立たぬやう左門が抜取つて姉に渡し、刺息を充分に刺してバラ〳〵と元の場所へ立戻つた、白柄組一同　十『出來したり左門姉弟、天晴美事の仇討、芽出度し〳〵』と聲を擧げる、武藏喜こんで　武『是れも偏に弓矢神の冥助、且又御一統の御助勢に依る所、サア一橋如見齋、當の敵討は相濟んだ、此上は助太刀同志の立合、望みとあらば何十人にても對手になる、サア來い來れ』と一刀を抜いて身構へた、白柄組一同も　十『多寡の知れたる浪人組一人々々は面倒なれども大勢集つて居るが幸ひ、一度に纏れ片端から鏖殺にして軍神の血祭りとなさん』と呼はる、

一橋如見齋も今は引くに引かれず、據ないから　如『如何にも對手をいたさう、長束傳八が吊ひ戰、一橋如見の技倆を見よ』と大刀提げて立上らんとする、時に浪人組の井上權左衛門　權『待て如見齋、傳八は浪人でない今は黒田家の抱へ、黒田の扶持を貰つて居る人間だ、之れを假令敵にもせよ擅ましく討つたるは先方の落度、黒田家へ一應届けてからでなければ敵討は出來ぬものだ、しからば之れは黒田から充分咎める所がある、其所を貴殿が騒いで白柄組を對手に切合をしては只の決闘になつて理を以つて非に落つるに至る、先づ〳〵短氣は止めにして此場は無事に引上げ、改めて黒田家より表向き懸合をいたした方が宜しからう』　如『とは申しても此儘に　權『まア我慢して此儘に引上げさつしやい、後は拙者が宜いやうに致す』と井上權左衛門も强て止める所へ吉原で喧嘩があると聞いて駈付けて參りましたのは市中風俗改め糸の平内長守といふ人で　平『何事か仔細は存せざれども此所らるべし、に於て大勢刃を交へ、血を以つて血を洗ふやうな事があつては相成らん、白柄組御一同も御引取り願ひ度く、亦浪人組一同も一先づ引上げて宜しからう、敵討の儀は追て取糺し、沙汰に及ぶ、此場は互に刃を引かれて宜しからう』と理を以つて双方を引分けた、糸の平内は高坂甚内と云ふ大賊を召捕つた豪傑、其名は市中に轟き渡つて居りますから白柄組一同も刃を引く、一橋如見齋も行懸り上據なく刀を持つて立上つたが内心餘り望まぬ喧嘩だから是幸ひと刀を引いて後へ戻る、さて此場は糸の平内兵衞長守、及び庄司甚右衛門の扱ひに依りまして白柄組一同は宮本及び左門お雪の姉弟を殘して引上げ、一橋如見は浪人組一同町奴等を率ひて此所を引上げましたが双方共此儘には濟まさぬ覺悟、宮本及び姉弟は一旦三浦屋へ戻りまして支度を改め茲で糸の平内に一應取調べを受けまして敵討の次第明白になりましたから、何れ沙汰をいたす、其迄待つやうにといふ平内の言葉に、宮本も本懐を遂しましたのを喜こび姉弟は三浦屋へ預けて屋敷へ立戻りましたが、此時途中まで細川の家中の者が出迎へ武藏を警固して屋敷へ引取りました、尚大門の邊りにも細川の家中の者が固めて居たといふ事で越中守殿も武藏の俠勇をお喜こびになつた、さて一橋より直に長束の討たれた事を黒田家へ通知したに依つて黒田家にては老臣重役相談の上、宮本は元より、之を助ける白柄組の暴動捨置き難し、嚴重に懸合はずんばあるべからずと老臣評議の上、一方は細川家重役に對し一方は白柄組肝煎水野日向守へ向つて嚴重なる懸合ひに及んだ、之を聞いた白柄組、不都合なる黒田の挨拶、其分には捨置かぬと血氣壯んの連中、鼻息荒く威張つて居る、日向守之を聞いてカラ〳〵と打笑つた。

買ひに行きましよ　木村屋さして　パンとお菓子とキャラメルと　（京城明治町　電二八七〇）

雜誌　廻讀會員募集　◎新古書籍交換　◎圖書雜誌販賣　規定目錄進呈　振替京城三九〇四　京城本町一　電一三七八　松榮堂書店

南米倉町朝市場通仁濟病院跡　内科小兒科　花柳病外科　入院隨意　上野醫院　電話二九三四番

九月廿九日　九星　舊九月三日　己巳　木命　一白　北　成　大安

▲一白● 浮説流言多き日新事見合西方は吉 ▲二黒● 〆括りのつかぬ事有日新事手控へ北方は吉 ▲三碧● 有効の日 轉居旅行入門名乗求職田漁婚姻金融交際等吉 ▲四緑● 結構なる日 轉居行商入學名乗求職田漁命件婚禮合資業を起す等吉 ▲五黄● 無趣味の所有日新事手控萬事は吉相談に應ずる勿れ ▲六白● 安全の日 轉居行商入學名乗建築求職會談株式遠洋田漁採鑛萬吉 ▲七赤● 萬か得る日 轉居旅行入改名棟上求職婚姻命件美術商業萬吉 ▲八白● 手の能む事有日新事手控萬事は吉一切のかけ事せぬがよし ▲九紫● 邪心もの多き日新事手控萬事は吉女子は一層用心せらるべし

白毛赤毛染　君が代

君が代の特色

▲染法　最も輕便にて二十分に染り

▲毛質を損する事決してなく

▲癖毛を直し艶色長く褪る事なし

▲尚　高評を博したる別製君が代ハ用ひ方一層便利なるものに付是非一度御試みを願升

本品ハ到ル處ノ藥店化粧品ニアリ

定價　特製　小二十五錢　大四十五錢　同別製　二十八錢

東京市淺草藏前　本舖　山吉商店　振替東京一九三七二　電話下谷二八八二

關西代理店　大阪東區北久寶寺町　伊藤朝日堂　電話東七四〇四　振替大阪三九〇

▲廣告▼

新荷著　ステッツル製　懐中時計

機械堅牢精確正確優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

十七形	ニツケル（兩蓋）	四圓五十錢
同	同	[illegible]
十八形	同ラヂユーム目盤	[illegible]
十九形	銀側	[illegible]
十一形	同	[illegible]
十六形	金側	[illegible]
十一形	洋銀メツキ形刻（兩蓋）	[illegible]
十九形	金パリ（十年保證）	[illegible]
十八形	同（同）	[illegible]
同	同（同）	[illegible]
	▼腕時計	
十一形	ニツケル側	五圓三十錢
十二形	同	[illegible]
同	同ラヂユーム入	九圓二十錢
同	銀側	八圓二十錢
アメリカ製十四金ペン付萬年筆		[illegible]
同		一圓八十錢
同		二圓二十錢
同		三圓八十錢
同		五圓八十錢
同		七圓五十錢
同		九圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無きものゝ候して願はくば急速御用命被仰度候尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計　蓄音器　ミシン機　自轉車　洋酒　各國貨　直輸入商

イングレツシー商會

本店　京城本町二丁目　電話九七三

山田醫院　本町二丁目四十五番地　電話一八八〇番

内科　小兒科　呼吸器病　胃腸病　専門　山田萬作

花柳病　眼科　（入院隨時）　尾形周太郎

登録商標　瓢水味淋　堺永嶋釀

專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

二ほまれ味噌

製造元　日本醤油株式會社京城出張所

患者に服用者に

▲速かに次亞燐服用して抵抗力を强め惡疫を最も確かに豫防せ

あるか……　無し

各藥店にあり　▲次亞燐定價　試用五十錢・小瓶八十錢・中瓶一圓卅錢・大瓶二圓

本舖　大阪道修町　製劑師　小西久兵衛

歯は命の親……其の大切な歯を

化學的に強く美しくする

クラブ歯磨

尚

クラブ歯磨は……大なる防腐殺菌の力を有し口中を清潔にすること他の如何なる歯磨よりも遙かに優れり

京城日報

下關期米特電

△先限寄付十二圓六十七錢止め十二圓七十七錢△中限寄付十四圓止め十三圓九十錢△先限寄付十四圓十七錢止め十三圓九十七錢

仁川米豆取引所

▲二十七日後場 兵庫後寄十四圓〇五錢東京十三圓八十五錢大阪揃止十三圓九十六錢後寄十四圓十七錢と暴騰入電にて當地當限不中中十二七錢と寄付折柄大阪筋安を移して④⑤其他貨に對するや其他貨も四十六錢と押し入錢を返して市況は大阪の大上放れを思はれる何分にも…

廿八日朝刊(夕刊と合せて八頁)

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料 五號活字一行金壹圓
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話番號

京城日報

鐵道の給養

今日我大日本帝國の對外交通計畫の規模略ぼ成り、帝國本土の水陸交通組織を承けて世界的大通路に當るものは我朝鮮鐵道にして、これと相接して滿洲西伯利亞を經て歐羅巴と相通す。且此世界的の通路たるや其開通日尚ほ淺く、これと相競爭すべきもの亦存する爲め、其の確立と發達とを圖るに努めざるべからずして、吾人が此大通路に當る鐵道の給養を是れ急とするを說く所以のもの亦此に存す。

世間鐵道を論ずるもの、概ね何某線は軍事鐵道なり、何某線は商事鐵道なりと稱して、其利害得失を辯じ、其施設經營の差別を說くがごとくなれども、既に鐵道といふ、總て是れ交通運輸を營まざるはなく、鐵道自身の經營は勿論、其載積する所のものは皆是れ經濟上の事物ならざるはなし。從て戰時軍事運送の爲めに敷設したるもの丶外は、悉く是れ商事鐵道と云はざるべからず。又他の一方より言はゞ、平生商事上の輸送を目的とするものは則ち、有事の日に於て戰略及び作戰の資とならざるはなく、商業的輸送力旺盛なるものは則ち其軍事的輸送力强大なり。今日歐羅巴諸國が、戰鬪上の第一要具とするところの鐵道組織は、則ち平生商事輸送に依つて發達したるものたるを思ふときは、鐵道を分ちて商事軍事の二種と爲すの、甚だ無意味なるを知るべきなり。

我朝鮮鐵道が滿洲西伯利亞と相接して世界的通路たるは、則ち其の商事的交通機關たる所以なりと雖も、我日本の國防上最も依賴すべきもの此線路たり。而して其設備を全くし其輸送力を旺盛ならしむるは則ち其經濟上及び國防上の必要を滿たす所以にして、其線路を保全し、其貨車汽罐車を豐富にする爲めに、行らゆる方法手段を取るは、則ち大日本帝國の自存自衞の要務たり。且線路の保全、貨車汽罐車の增多、輸送配給の改良進步を圖るの要は、其線路に出來得るだけ多くの旅客貨物を吸收するにあり。此目的を達する爲めに外國鐵道、外國船舶と競爭することあるは、自然の數なるのみならず、時としては日本の鐵道又は船舶と小競爭することなき能はずと雖も、競爭は經濟上の常事にして、其を絕止するに由なし。只國家には自ら國家の定策あり、此根本政策に鑑みて、多少の犧牲を供するは復た已を得ざるの事なり。

近頃三線問題に關する世說紛々、此間一二私利私情を挾みて相爭ふものゝ亦これ無きにあらずと雖も、未だ其所說の此根本政策に觸るゝものあるを聞かず。然りと雖も我朝鮮鐵道が、大日本帝國の對外交通組織の根幹にして、世界的大通路に當るものたることに就ては、異存を懷くものなきのみならず、國家有事の日に當りて、其依賴すべきもの丶何たるかに就ても、亦異存を懷くものなし。只其交通機關を給養し、發育せしむることに就てのみ故障を挾み、異說を唱ふるものあるは、顚倒の極と謂はざるべからず。

鐵自給策と製鐵所經營(五)

經濟研究會に於ける 押川製鐵所長官口述

製鐵事業と石炭

製鐵事業上最も必要なるは石炭である。而して石炭は鑛石の二倍を要する。故に石炭供給の自由な所でないと製鐵事業は甚だ不經濟である。製鐵所を九州に設置されたのは九州炭を使ふのが目的で、之が爲め製鐵所は自ら炭山を所有して居る。今日約五十萬噸近くの鑛石を熔かすには百萬噸以上の石炭を要する。之に對し製鐵所所有の炭山より供給するものは六分通り或は七分通りになるであらうが、其他は之を民間より購入するのである。此の石炭の六七割はコークスの製造に用ゐられる。溶鑛爐には直接石炭を焚かず、石炭より得たるコークスを焚くのであるから、コークス製造の石炭は餘程品質を選ぶ必要がある。今日製鐵所所要の燃料としては筑豐の石炭のみでは甚だ不充分であるから、之に更に良質の石炭を混ぜる必要があるので、只今は支那本溪湖や開平の石炭を幾分用ゐて居るが、尚西島附近の石炭も用ゐたい考で、少し契約して居る。是等石炭を九州炭の善良な種類に二割若くは三割を混和してコークスを製造するのであるが、素より歐羅巴や亞米利加で使ふコークスには當らないけれども良質の石炭を必要丈け外國に買ふことも甚だ困難であるから種々研究を遂げて不充分ながら其等のものを使つて居る。故に鑛石さへあれば製鐵事業は直ちに起ると云ふ譯には行かぬのであるから、今日以後製鐵事業を起すに就ては石炭供給の問題は鑛石の問題と同じ程度の重要問題である。此點に於て石炭の産地に製造所を起すのは第一運賃の關係から云つても大變經濟であるから歐羅巴や亞米利加の製鐵事業の盛んな處は鑛石が近所にあるとか、石炭の存在地だとか若くは鑛石も石炭も兩方近所にあれば最も仕合せで、さう云ふ所もあるが、何れかの條件を具備する所である。此の故に製鐵事業を起すに當つては石炭供給の關係を深く研究しなければならぬ。

水及運搬の關係

次には水及び運搬の關係である。今述ぶる通り、石炭の如き何十百萬噸を要する次第であるが、製鐵事業は要するに鑛石と火とで出來るのであるから、水の供給に就ても餘程研究しなくてはならぬ。今日製鐵所で使ふ水は遠賀川から三里も鐵管で引いて居るが、此他にも大なる溜池を造つて居る。

運搬の關係も、金を何程でも出して原料を取れば直ちに製鐵事業が出來るかと云ふに却々左うは行かぬ。鑛石運搬上積込、陸揚等非常な設備を要し、只今製鐵所は之が爲め長さ五百七十間、干潮面二十尺の大岸壁を造り、三千噸位の船は同時に二隻を繫留し得る設備があるが、これとて明後年以後は却々それ位では足るまいと思ふ。岸壁も浚渫も同時に施設せなければならぬ。大冶から持て來る鑛石は揚子江が渴水の際には迚も四千噸級の船を大冶の方まで上らせる譯には行かぬ。又冬の數箇月は結氷の爲め運搬ができないので、前後八箇月位しか運搬ができない。鎭南浦の方の運搬も之と同じ關係で甚だ不便であり、又冬の間でも多少運搬しなければ製鐵所に於ける原料の蓄積が不充分であるから此點に就ても

朝鮮の古城郭(一)

八木奘三郎

朝鮮の地は由來古蹟に乏し、而も他國に比して其多きを誇り得可きは唯た古城郭の類ならんか。今や三伏の暑熱は數日の霖雨に殘りなく消えて、新秋の凉氣は普く山野に滿てり、されば燈下親しむ可く、郊外の遊亦む可し。此時に當りて古城郭論を出すは又學問上の參考となり或は實地探查の一助たるを得んか。近來十島の全部は古蹟の取締り嚴重にして官憲の外、他に手を觸れしめずと雖も、古城郭の類は東坡の所謂山間の明月と江上の淸風とに似て、玆に遊び、斯に登つて實查の手を下すも法に觸るゝの恐れなく、又地下發掘の必要なく、一は以て往時を偲び、他は歷史と對照して古今の變遷、勇猛卒の懸引等を目前に髣髴するの興味を湧起することを得可し、故に今は世人に向つて城郭行の遊を勸むると共に、其手引として本篇を起草することゝなせり

(一)城郭とは何ぞや

人類學者の研究項目中には、人とは何ぞやとの問題あり、吾々人類が人に似たれども、人類と猿等との間には人猿中間動物なるものありて其分界明かならず、故に人類を劃するは寧ろ必要條件を謂ふ可しとの問題を決する人少しと雖も、其限つて研究する場合に、其分界線の如き、湖水的大なるものを海と云ひ、又山と丘との區別を有耶無耶の間に過すが如きことは學者としてなすまじき業なり、去れば城郭研究に就て、其性質と意義とを說くことは第一の要義なる可し、是本文に入るに先つて右を述る所以なり。古來城郭の定義なく、又之を決すること頗る困難なり、然れども流石に支那は文字の國とて其區別自づから存するに似たり、故に之を述んとすれども、猶其以前に古書の記載と日本の例とを一言す可しこ之れ又對照上に多少の益あればなり。

漢の劉熙の釋名に曰く、城は盛なり、國都を盛り受るなり。宗の馬縞の中華古今集に曰く、城は盛なり、人物を盛り受くる所以なり。

呉越春秋に曰く、鯀、城を築て以て君を衛り、郭を造て以て民を守る。

是等は皆な城の性質を解說せるものにして、其一は國都を盛り受くと云ひ、次は人物を盛り受くと云ひ、第三は君を守ると稱すれども、要するに其内部に立籠りて、敵を防ぎ、味方を守る大なる防禦上の境界物たることを推知するに足れり(此項未完)

沙魚(五の日十の日會吟)

○過る時の見素ぼらしき沙魚 石船
○沙魚舟一とかたまり突堤外 乙雨
○沙喰ひ盛る膕までの季 虎丘
○浮標を輪に漕ぎ細沙魚動く 浮碧 耳
○痒く擦く朝からの沙魚釣なし 日 樓
○沙魚釣るゝ舟の尻上り 池

日報詩壇

○月下飲 森下 半狂
今宵倆再醉紅霞、相對美人三五秋。騎…
評曰 眞是風人之詩
○觀 月 森下 顧柳女史
萬里淸光水映天、此宵歡樂共同聞。家子偏多於素、三千未眠三子眠。
評曰 人生歡樂花多子、可羨可羨
○初 雁 森下 半狂
相逢成隊聚成團、異鄕街廬過北韓。欲聽降邦征戰事、數聲新雁月前看。
評曰 捕題配時事、意殊新
○同 上 森下 顧柳女史
蒲降秋色入新涼、初雁聲聲度彼蒼。信不來千里遠、倚欄樓上獨懷鄕。
評曰 無限相思
○江亭即事 齋藤 三寅
南山翠色映晴江、酒醒吟腸手把缸。照一簾風四面、吟心清淡俗塵降。
評曰 脫俗避塵商與有餘
○凉 棚 話 月 圓山 牧雲
風來蘿晚熱。月出上凉棚。懽語座間湧。滿光杯裏明。檻前篩竹影。籬外送鈴聲。只合消幽賞。殷勤鷗鷺盟。
評曰 誦來如喫冰、淸涼之氣溢于紙上

日報歌壇

石花島たかし(京城)
小谷津鏡際(京城)

深更の寂寞破り秋の夜の支那料理屋の拳の聲かな
朝なれば新秋なれば去りしことかろくふれゆくわが心をば
すぎてみな淡きが悲し心いま秋ふる雨にこぼれてあり
みちばたの名しれぬ草も色づきぬものを思へば人のこひしき
秋たけぬふと見出せしかげろふの古びし翅にうき事ぞしる
しとしきは高く舞ひにし蜻蛉のこの亡骸に秋の雨ふる
いとほしや心のきよく靜まりぬ萩の小窓にもの思ふ秋

物品購買公告

一擔棒五百本
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ府稅京城府内ニ於テ國稅、方税ヲ上納スル者ニ限シテ一年以上斯業ニ從事ノ者
大正五年六月ニ附シ京城府條例第二十二條ニ依リ入札ニ係ル仕樣書見本等ハ本府ニ就キ縱覽スルコトヲ得
十月二日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當
大正五年九月二十五日 京城府

補闕生徒を募集す

私立京城女子技藝學校
京城中等夜學校
南大門内(電話一七八九番)

簿記生徒募集

卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す 規則書要二錢
京城簿記專修學館
京城明治町二丁目

訂正五版 日本美術史講話

文學士 黑田鵬心先生著

四六判六百頁、一四三頁、人名索引、遺物索引及日本美術機選二一覽表付、クロース上製函入

今や美術のシーズンは來れり、新なる美術を見る者は須く古美術を知らざるべからず、本書は本邦各時代各種の美術を網羅し之を系統的に講話せるもの、『東京朝日新聞』曰く一讀日本美術の推移を知悉し其要領を得る本書の如きは未だ其比を見ず、と以て其眞價を知るべし

特價金一圓八十錢 (定價二圓 送料金十二錢)

發行 趣味之友社
發賣 大阪屋號

日本大學 法制學會編纂

普通文官養成講義錄

(講師) 中村法學博士 清水法學博士 副島法學博士 青木法學博士 小林法學博士 織田法學博士 板倉大審院判事 柳川大審院判事 岩田大審院判事 山岡司法參事官

第八回新學期開講
▼此際に限る各種の大特典あり!
入會の絕好機は今日
▼普通文官となりて立身の基礎を作らんとする人は
▼一日も早く就職して立派に獨立せんと欲する人は
▼少額の會費にて有用の學科を修了せんとする人は
▼活社會に重用せらるゝ資格を早く得んとする人は
▼下級より一躍して高級の官吏とならんとする人は
速に來れ

本會規則
▼講義錄見本つき
▼申込次第進呈す

東京神田區駿河臺
日本大學法制學會出版部
電話本局三七〇七番

英語講義錄

世界的交涉の頻繁なる今日何人も欽くべからざるは英語の力である。駸々たる世界の進步に遲れず將來劇烈なる競爭場裡に立たんとする諸君は僅に一日數時間を割きて英語を學び立派に立身の根底を造らんとは思はざるか

本會は十餘年の經驗と努力とに依り最も信用ある通信講義錄を發行し現今最も親切なる設備に依り有効に迅速に諸君の目的を全ふすべし。

親切なる講義と完全なる設備と最低廉なる會費

東京市麴町區富士見町三四七〇番 電話番町 大日本國民英語學會

見本進呈
內容見本附詳細案內書 申込者に無代送呈す

贈正一位 水戸義公源光圀卿修・賴山陽先生抄本 朝比奈知泉先生校閱 井川巴水先生和譯

大日本史論贊集(完)

水戸義公の修撰せし大日本史は國史中の大日本史に論贊を附しあり享保五年幕府に進獻したる大日本史は國史中の大公の薨後史臣の議に依り之を削除せし爲め現行大日本史には論贊無し蓋し論贊は史中の精髓にして賴山陽先生の如きも最も之を愛讀せられたり如此貴重なる論贊が天下に公行せざるを遺憾とし今回論贊合計二百七十四篇の原漢文を掲載し且假名附の和譯を加へたるもの本書即ち是れなり總て本書が如何に史學上有益なるかは各位の既に定評ある所にして世に公行せずに御申込あらん事を好機を逸せず速に御申込あらん事を伏して謹告す

豫約締切は本年十月十日限り
▲特價一冊金貳圓也
▲菊判六百頁以上(總クロース金文字入函入製本)
●製本出來着金即時送本
●豫約申込者に限り發賣

目次概要
本紀は自神武至後小松諸臣傳には皇子、后妃、皇女傳、將軍、將軍家臣傳、孝子傳、義烈傳、烈女傳、文學傳、歌人傳、方技傳、叛臣傳、逆臣傳、諸蕃傳の各論贊を一括網羅す

本書豫約募集發表後直ちに非常の好況を呈し四方各位より續々御申込あり今其中先般賛助の光榮を與へられたる閣下諸賢の芳名を摘錄すれば左の如し(イロハ順)

式部次長公爵 伊藤博邦 / 朝鮮京畿道廳 / 陸軍次官中將 山田隆一
侯爵 池田禎政 / 立憲政友會本部 / 貴族院議員 安田善三郎
伯爵 板垣退助 / 總理大臣侯爵 大隈重信 / 錫守 (益田)孝
海軍大將男爵 伊集院五郎 / 侯爵 大倉喜八郎 / 衛戍總督中將 松川敏胤
男爵 岩崎久彌 / 陸軍大臣中將 大島健一 / 文部次官 福原鐐二郎
衆議院議員 犬養毅 / 行政裁判所 岡野敬次郎 / 貴族院議員男爵 後藤新平
會計檢査院長 石川… / 文部省 小川平吉 / 帝室技藝員 小松原英太郎
樞密顧問官伯爵 蜂須賀茂韶 / 圖書課長 渡部薫之介 / 衆議院議員 小久保喜七
樞密顧問官子爵 花房義質 / 貴族院議員子爵 加藤高明 / 攻玉社
樞密顧問官男爵 濱尾新 / 農商務大臣 河野廣中 / 衆議院議員 安達謙藏
三井銀行重役 早川千吉郎 / 樞密院副議長伯爵 芳川顯正 / 樞密顧問官子爵 清浦奎吾
衆議院議員法學博士 花井卓藏 / 貴族院議員男爵 高木兼寬 / 遞信大臣 箕浦勝人
男爵 細川潤次郎 / 大藏大臣 武富時敏 / 公爵 宮城控訴院
陸軍中將一師團長 本郷房太郎 / 文部大臣 高田早苗 / 男爵 島津忠重
東京帝國大學史料編纂所 / 法學博士文學博士 竹添進一郎 / 澁澤榮一
貴族院議員國民新聞社長 德富猪一郎 / 樞密顧問官子爵 曾我祐準 / 衆議院議長 島田三郎
元帥伯爵 東郷平八郎 / 成田山新勝寺 / 勸業銀行總裁 志村源太郎
法學博士 戶水寬人 / 衆議院議員法學博士 鵜澤總明 / 貴族院議員 平田東助
東京高等師範學校圖書館 / 西部鐵道管理局長 野村彌三郎 / 海軍大將男爵 日高壯之丞
東京女子高等師範學校 / 法學博士 倉富勇三郎 / 宮中顧問官 平山成信
元帥大將公爵山縣有朋 / 貴族院議員子爵 關義臣 / 貴族院議員男爵 關清英
海軍次官少將 鈴木貫太郞

發行所 東京芝區愛宕町二ノ一四 振替口座東京八〇七 電話芝(二六四四) 大正書院
內地送料一冊金十錢 臺灣、樺太、朝鮮支部 特約販賣所金四十錢

●咸北建網漁業 咸北道沿岸の建網漁業は從來全く春季に限られ秋季漁は鱈明太等特種魚の漁獲以外更に顧みるものなかりしが昨秋淸津以南沿岸建網漁區の許可出願者續出して北道沿岸百數十箇所の多數に上りたるが就中最も稠密なるは淸津以北連津間四

◎日露親善御演説
露帝日本の好意と功勞を稱揚す

閑院宮殿下には露軍大本營に御到着最上の禮遇を受けさせられたり殿下午餐會席上の御演説は日露兩國國交の親善を説き而も用辭懇懃を極めさせられたり露帝は露軍への武器供給に關する日本政府の好意と功勞を厚く稱揚あらせられたり（露都電報）

◎大借款と支那の利害
支那プレス北京通信員の所報に曰く、善後借款一千萬磅の大部分は日本に於て之を引受くる事となる可きにより小田切氏は財團を代表し日本の監督の下に地租を擔保に提供せん事を要求したるが此の要求は支那に取りては最も重大なる問題なり如何となれば右は明かに日本勢力の支那內地地方に侵入するを意味し日支間に何等か事件發生せば日本軍隊は必ず內地地方に入込む結果とならん鹽税は新借款の擔保として充分なれば段祺瑞は斯くの如き非理の要求を容るゝ位ならば寧ろ借款を成立せしめざるも可なりとの意見なるが如し（上海特電）

◎吉鐵借款
容易に決せず

吉長鐵道借款は尙ほ手取の件に就き支那側は九三、日本側は九〇を主張して意見一致せず二十五日も小幡參事官交通部に王次長を訪ひ協議せるも決する所無し支那側は契約調印前に國會に提出し同意を求めざる可からざれば讓歩する事困難なりと（北京特電）

◎希國參加と借款條件
雅典二十四日發電報に據れば希臘は協商國代表者に對し希臘軍隊の動員及び軍備費用を充分支辨するに足る借款を條件として中立を拋棄し聯合軍側に參加す可しとの提案を申出たりと（東京特電）

◎兩軍コンブルに突入
英軍はコンブルに突入し目下市街戰行はれつゝあり佛軍はフレジクールの全部を占領し同じくコンブルに突進せり（巴里電報）

◎コンブル全く陷落す
巴里公報に依ればコンブルは全く英佛軍の手に落ちたり（巴里電報）

◎獨勃兩軍撃退さる
羅馬尼のアルメノールに對する獨勃兩軍の攻撃は大損害を蒙りて撃退せられたり（巴里電報）

◎敵機墜落
二十五日西方戰場南部戰線に於て九臺の獨軍飛行機は佛軍飛行機の爲めに打ち落されたり（巴里電報）

◎死者廿九名
公報に據れば、英軍敵飛行船攻撃　英軍二十三日夜の飛行船攻撃に際し死者二十九名を出せり（倫敦電報）

◎ドーモン攻撃失敗
獨軍はヴェルダン方面のドーモンに對して攻撃を開始したるも悉く撃退せられたり（巴里電報）

◎我守備隊引揚
土城子に駐屯中の我守備隊本部は廿七日懷德縣迄引揚げたり（奉天特電）

◎駐外公使更迭
近々外交官一部の更迭を見る筈なるが其の結果外務省通商局長坂田重次郎氏瑞西公使たる可し（東京電報）

◎露藏券と金融
第二回露國藏券發行の結果我手形交換高の記録を破り利子奔騰せり（東京電報）

◎米國選擧期迫る
大統領選擧形勢

[illegible]たるバブクックにありては前回の屈辱を此一擧に雪ぎよりて以て黨の顏[illegible]黨として運動上多少の便宜を有すと雖もウヰルソン氏の外交成績につき[illegible]大政治家口を極めて之を批難攻撃して止まざる[illegible]一擲し或ひはノックス氏をして東清[illegible]鐵道の中立を提議せしめて[illegible]れず故に政府側に於ても共和黨の軍備擴張主義に雷同して盛んに陸海軍[illegible]を高唱し以て[illegible]

◎濠洲航路殷賑
外國船舶拂底の爲め我濠洲航路船は頗る殷賑を極め郵船會社は今回臨時船を就航せしむる事となれり（東京電報）

◎東京市債成立
東京市にては今回日本興業、三井、十五、第一、三菱の五銀行團との間に一千五百萬圓の市債募集の內議成立し二十六日の市參事會に於て假契約締結を可決し二十七日を以て調印を取換はす事となりたるが右は電氣事業短期借換及び下水道改良費に充てらる可し（東京特電）

◎印度實業團入京
日印貿易促進を目的とせる印度實業家の日本觀光團一行は二十七日入京我官民の盛んなる歡迎を受け大隈首相は一行を自邸に招待し盛大なる歡迎宴を開きたり（東京電報）

◎三線問題と奉天
三線聯絡問題に付き奉天は從來傍觀の體なりしが該問題は愈々世間の注意を惹くに至りたるを以て之が態度を明にすべく二十七日商業會議所にては臨時總會を開き鐵道院案に贊成し之れを發表することに決したり（奉天特電）

◎採炭制限の解除
筑豐石炭組合にては來る十一月一日より採炭制限を全部解除することに決せり（門司特電）

◎朝鮮大阪貿易
朝鮮對大阪貿易の九月中旬分は移出十六萬八千三百八十圓移入九十三萬八千九百十七圓にして合計百十萬七千二百九十七圓なるが結局移入超過七十七萬五百三十七圓となれり尙ほ一月以降の累計は移出一千二百五十二萬一千零四圓移入一千七百十二萬三千五百零九圓合計三千四十四萬千五百十三圓に及び移入超過額五百四十萬圓に達す九月中旬重要移出移入品價左の如し

九月中旬移出		九月中旬移入	
綿布	三六、七〇五	米及籾	三三、八八一
清酒	三三、六六八	豆類	一五、三〇七
綿織絲	一三、二〇一	牛皮及水牛皮	四四、九二五

尙ほ金銀の移出は一月以降累計四十九萬八千六百十四圓移入十一萬五千四百五十五圓なりと

◎地方經濟狀況(二)
仁川商業會議所調査（瓮津郡の續）

▲物資集散狀態　海州商勢內なりし近時之れが覊絆を脱却しつゝあり然れども全然之れが供給を仰ぐこと皆無と迄は言ふを得ざるも昨今漸次獨立の舞臺に進むべきを疑はず昨年中の移入額六萬四千圓にして其の主なるものは食鹽、石油、煙草、金巾類にて食鹽は鎭南浦より移入し其の他は仁川に仰ぎ一箇年一萬七千圓に上り逐年多きを加へつゝあり

▲金融及び經濟狀態　近時麥の取引も比較的高價に行はれ而も收穫期に入りし爲一般に潤澤にして貯金增加し金貸業者は遊金に苦しむ狀態にあり而して海岸には海產物の採取多く鮮民に至る迄[illegible]

一特產物として海草及び鐵鑛石の產出多く鐵山は六合組の手に依りて經營し一箇年の產金高十一萬六千三百四十一圓にしてあり右の秀岳金山鑛出の金鑛石は全部鎭南浦製鍊所に送致するものにして之れ等の運搬船として陸路共の船を利用し日用雜貨を積み込み送り

▲長淵郡の南部（苦灘）　苦灘は長淵郡の最南端にして津長淵兩郡に跨り配布する事となれば尙ほ小部分は云へ仁川商人に多少は打撃なるべし又た附近白翎島及小青島其他の島嶼は青鎭南浦より購求又は石油と島嶼產の海草を交換し年々多額に上れり共の他雜貨類は船にて取寄せつゝあり然れども今各品に渉りての統計なきは遺憾なり

▲位置及地勢　苦灘は長淵郡の最東南端に位し瓮津海州の二郡に隣接し良浦として有名なり郡內を佛陀山脈によりて橫斷せられ其支脈を延いて牧甘面道達面が其大部分を占め地形上北と南とに分たるされば近時鎭南浦商人の大飛躍により近時移出入の數著しく增加せる程至りて盛くされば商勢は此以南を仁川勢に分たるゝ事とす昨年雲山面閑却す可らざる事とす

灘より一里）に良銅鑛山の發見により神戸農工銀行より五十萬圓を借用し大規模に計畫しつゝありとの噂もあり愈々事實たらば一箇年十萬圓以上の鑛容を鎭南浦に奪はるゝの恐れなしとせず是れ仁川商人の大に注意を要す所なりとす

▲農況
稻作　稻作本年は多少減收の見込みなりしも着穗期より引續き氣候適順にして降雨も比較的多かりしを以て天水田も良好昨年と大差なく四七、三八五石の見込みなり大豆木綿北部は蕎麥のみ著しく延び花莢期に又た雨に會ひ好んご昨年に比し三分の二減の有樣なれど南部は比較良好なれば今後急變を見ざる限りは昨年に比し二割減位の收穫ならんと

粟　其他の雜穀比較的無難に經過せしが昨年より五分増收の見込みなり其の他の雜穀が一般に良好と認めらる

▲主要穀類集散　苦灘は船著場として出する穀類は瓮津郡牧甘面、海州郡雲山面、南面、北谷面、代中面、月興面の四面並津郡加川面の七面を網羅す是等の商舖は鮮人仲買人を使役して買込み又は店員を派して買占め之れが出荷を途に仁川鎭南浦の各商に仕向けらる昨今の相場は米十四圓八十錢、小麥六圓、小豆八圓、に滯在中にて二百石近く鎭南浦に發引しと聞くなる

尙ほ苦灘より移出する米及其他の穀類も昨年に比し約二割の增加なりと

▲物資集散狀態　苦灘は船著場として物資の集散多額にして附近諸邑に見る集散地なり一箇年移入高は九萬六千圓に上り食鹽、石油、金巾類を主なるものとす其の多くは仁川より移入し食鹽の半ばは鎭南浦より仰ぐ近時非常に鎭南浦品の各店に現はるゝこと多きを加へつゝあり

▲金融及び經濟狀態　小麥の高値と蠶業とにより當地一般に頗る工合よろしく納稅なども近來になき好成績にて引續き稻作の良好なると共に非常なる好景を呈せりされど金貸業者も遊金に苦しみ居る狀態なりと（完）

◎鮮銀神戸支店
朝鮮銀行神戸支店の開設に就ては同行にても夙に朝鮮對神貿易の發展其他の關係上開設する事に決定總督府よりは去る十三日營口支店開設命令と共に神戸支店開設の命令を發し鮮銀は目下開設に關する各般の準備を進めつゝあり不日營業開始の運びに至るべしと

◎中村組株式（申請）
鎭南浦の中村組は今回株式會社組織と爲すべく九月十八日附を以て鎭南浦府を經由し平南道廳に認可申請書を提出せり今其內容を聞くに資本金は三百萬圓とし大株主は中村精七郎、中村勇、神田太吉、平田又左衞門、竹內銳產、吉村周三郎、中村忠雄の諸氏なりと

◎鳥居氏の踏査
豫て入京京城ホテルに止宿中なりし東京理科大學講師鳥居龍藏氏は過回平安南道及び黃海道地方の古物遺跡踏査の爲め二十七日午前平壤に向け出發せり因に歸京期は本年末の豫定なり

◎本年水蔘高價
專賣課開城出張所にては目下紅蔘の製造中にて其買收に漏れたる則ち白蔘の原料となるべき水蔘は例年になく價格高く二十四五日頃六十斤入一俵にて最劣等品十八九圓より最優等品は六十圓を超ゆる者もあり普通卅五六圓位也

湖南遊歷(三)
釋佛居士の談

▲光州の一日（下）

吾々は其の日の午前十一時頃から宮木長官其他に導かれ、光州農學校の參觀に行つた、先づ寄宿舍を見る、寄宿舍は一寸長屋然たる建て方で各室八疊位の温突に仕切たゝきの通路があつて自由に各室に往來が出來る樣になつて居る、各室とも頗る清潔で掃除も仲々よく行屆いてゐた、朝鮮人の生徒が規律正しく學の道に勤しんでゐるのを見て欣幸に堪へなかつた、食堂では恰も十數名の生徒が晝飯中で仲々御馳走があつた、宇佐美內務部長官も嘗て此の食堂の飯を試食し二杯も平げられたとの事であつたが、吾々は後刻の馳走を控へてゐる爲め、遂に宇佐美長官と雄を爭ふて見る勇氣が出なんだ、次で蠶室に入る、季節でないから蠶はゐないが、生徒のやつてゐる蠶具の修理手入れは仲々小器用に見受けた、學校附屬の桑田其の他の耕作地にも佐藤校長より導かれる、最後に小高い四阿に上つてそこで生徒の作つた茅枝豆西瓜栗等の饗應に與る、席上大塊老の俳句を捉へ忽にして十七字に化し從つて吟じ從つて書し、忽ち數十句をなす、見る人其の自在なるに驚く、農學校の所在地は昔日有名な柳林藪と云ふ所で、名詮自稱可なり樹林だつたらしく以前故近衛公の如き其の買收を企てた事もあるさうだが、今は伐り開かれて立派な耕地と化してゐる、乃ち一詩あり

臨罰井然畦路通　柳林藪跡復爲空
無等山翠光州水　雄大風光指顧中

光州は古來觀察道の所在地ではない謂はゞ新都だが、市街に落著きがあり氣持ちの好い町だ、位置も全南の中央に位し各郡に號令するに適好である、無等山の翠色は光州の誇りで光州川の長い流れも亦捨て難い趣きを有してゐる。

新任後未だ間もない宮木長官の評判も聞いた、長官は著任以來道務の簡易敏捷を圖り、居常各方面の官民と意思の疏通を圖り、各地の民情は喜んで聞くと云ふ風だから一般の氣受けは頗る好い、殊に道廳にありても精勤精勵自ら部下に範を垂れつゝある爲め役所內も悉く長官には心服してゐるとの事であつた、全南の產物は米と棉を主とし海に豐かなる水產あり、養蠶も年々盛んなり長城方面からは材木も出る、氣候温和地味肥沃其の前途に於ける富の發展も蓋し期して待つべきものがあらう

夕刻光州を辭し、松亭里驛發午後七時四十四分の列車で吾輩は木浦へ大塊翁は榮山浦へ向ふ、廣生每申全南支局長光州より同行、羅州まで長野木浦新報主筆及び吾社木浦支局長高根氏が迎へて呉れ、車中木浦談で賑ふ、汽車は闇を衝ゐて驀進し午後十時木浦著林警視の出迎を受く警視とは京城以來の舊知にて手を握つて舊歡を叙す、吾輩は直ちに三吉野旅館に投じた。

◎迎日漁業問題好望（慶北）
迎日灣漁業問題たる差網及び定置漁業問題は種々なる關係より是が解決を遲延ならしめつゝありしが今回道當局及び浦項有志の斡旋に依り出來得る丈け差網業をして定置漁業を妨害せしめず又定置漁業保護の爲め差網業の自由を束縛する事なく從來約千艘の出入ありし差網船を今後八百艘に限定し又從來屆出就業なりしものを任意就業たらしめて雙方の調和發展を圖る事に內定せりと

◎慶北葉莨況
大邱附近を中心とせる內地葉煙草は成熟期に天候回復せる爲め稍々見直し葉肉も良好となりたれど處々に赤星病の發生するあり一方大邱に於ける製造家は殆んど買進みの元氣なく耕作者は昨年より安價にては手放さゞる氣配なれば屑物の外未だ賣物少く手合せなく睨み合ひつゝあり出盛期となるも昨年の平均相場一圓二三十錢を劃せざる可しと觀測さる

◎鑛山紛爭解決
平安南道成川郡崇興鑛山は長らく紛爭中の處此度松井鍾路警察署長の盡力により關係者一同を和解せしめ津田鍛雄氏より金四萬七千圓を出金し全部の鑛業權を津田氏に於て引受け經營する事となり全く紛爭を解決したりと

◎浦鹽視察者歸釜
釜山商業會議所主催浦鹽方面より西比利亞滿洲各地の商工業視察をなしたる中村（米穀代表）石原（商議代表）山崎（組合代表）の諸氏は廿六日午後七時著列車にて歸釜せるが官民多數出迎をなせり（釜山）

◎鮮銀遣外員發期未定
鮮銀海外派遣員の調査事項は未だ決定せざる爲め何れも其の出發期未定なりと

◎兩驛と時間外電報
十月一日より木浦及び新安州停車場電信取扱所に於て時間外電報の取扱を開始する事となれり

◎小田書記官面會謝絶
中樞院書記官小田幹治郎氏は二十五日午後三時中樞院にて執務中胃潰瘍の爲めに臥床せしが爾來森安博士及び多田見習醫師の診察の下に中樞院階上にて靜養中にて全快までには相當の日子を要すべく目下見舞客に對しても醫師の注意により一切面會謝絶し居れり

人事片信
▲中村精七郎氏（中村組社長）中村辰五郎氏（中村組員）二十八日午前入京天眞樓へ

▲鹽澤義夫氏（海州憲兵隊長）二十七日夜入京山本旅館へ

▲木村宜都氏（臨時土地調査局監査官）二十七日朝入京不知火旅館へ

南言北語
徐州では張勳主張の十二省代表會を開いて居る▲反對を唱へて居た馮國璋迄も代表者を送り▲一體やかまし屋の倪嗣沖などは五百の兵隊を率いて來た相な▲イヤ何うも物騷千萬な會議だ其れから其の宣言と云ふのが大したもので▲鳥渡拜見すると群力を集めて中央を擁護するは好いが▲暴徒を抑へんとすと來ては十二省の督軍省長等は國會なぞは暴徒の集合と見て居るからたまらぬ▲イヤまさか進へば何でもやり兼ねぬ連中だからナア▲墨國のヴイラは又々大分荒れ回り出した▲ウヰルソン大統領も此奴には手を燒たから今度は鳥渡手を出すまい▲其處を見込んでもあるまいが大に始めた▲何時も亞米利加の鼻の先で銃劍をヴイラ〳〵させて居ては米國もトコトンヤレで澄し込んで居る譯にも行くまい▲足利時代の外交と云ふのも大仰だが當時の朝鮮との關係には頗る面白い事が多い▲李朝實錄なぞを見ると斯う云ふ事がある▲朝鮮の釣鐘が能く日本に行つて居るが彼れは日本人が持ひて行つた樣に云はれて居るけれど實際は朝鮮政府から送つたものだ▲彼の有名な[illegible]寺の大藏經版木なども日本に送る處であつた▲其れは當時日本からは朝鮮政府に盛に經文送附を依頼した▲遂に日本では經文を度々云つてやるのも面倒だから一層の事版木を送れと云ふ使者を出したものだ▲朝鮮政府でも大分驚いたが評議の結果仕方がないから送る事になつた▲が、其際若し之を送ると今度は何ぞ云つて來るかも知れないと云ふ議論がボツ〳〵出た▲日本では談判が濟捗せぬからソツと寺から取り出そうと計畫した▲處が何うした譯か其の事が一般に知れたので日本の方でも甚濫にして止まつたものださうな

▲排獨主義に報復
せんが爲め共和黨に對して少からざる好意を表しつゝある事其れなり而して之に對して加減乘除の相殺を行ひつゝあり觀來ればウイルソンヒユース兩候補[illegible]五角の勢ひにてウ大統[illegible]票數を集め可く其差違は極て少數なる所にて勝敗の決を見る可き形勢也

拾月號　雄辯
■德富蘆花物語…奈良 徐中 淮亭
天才蘆花孝子蘇峰兄弟の生立ちの記なり
▲米國より歸りて…八濱督郎
▲娼婦救濟意見…片山博士
▲眞正文明生活…後藤新平
▲薩摩魂平田靭負…平山蘆江
▲獨立祭の大演説…添田博士
▲陸義猶翁を懷ふ…黑頭巾
▲聲樂上の雄辯家…三生坊
▲人を見て法を説け…植原教授
▲ゼスチユア研究…ムクロン
▲慶大辯論の發達…村岡熊男
■懸賞五分間演説　一等三十圓 五等まで
其他縱論橫議論外時評等如例
一部廿二錢　郵稅二錢　本郷阪下町四十八　大日本雄辯會　振替東京三一三九〇

虎列拉病豫防注射無料施行
本社被保險者に對し來九月二十八日より當分の內每日午前十時より午後三時迄豫防注射の御需に應ず御希望の方は保險證券御携帶御來店ありたし
京城黃金町二丁目
有隣生命保險株式會社朝鮮支部

中學世界
十月號　定價二十三錢・郵稅二錢　前金八冊一圓八十三錢・郵稅共十二冊二圓七十錢
■東京本町　博文館
■安全と危險（新學生訓）…三宅博士
▲社會に負へる所なきか…安部磯雄
△政黨及び政治家…浮田博士
■一鐵拳制裁物語…北寨草雄
△國漢豫習の仕方…諸星教授
△日本ライン犬山の勝…巖谷小波
■世界無比の泥火山…西岡埋寮
■判任文官志望者へ…山鬼谷
△農大豫科の受驗に就て…渡邊教授
△南洋見物…坪谷水哉
■一試驗倶樂部
△木乃伊の悲劇（小說）…阿武天風
■一笑倒病氣缺席顚末…奇想天外
▽先生樣と生徒…奧野他見男
▽懸賞口繪募集に注意せられよ！

朝鮮總督府鐵道局
十月一日より左記箇所に取扱所を設置し鐵道小荷物及速達便貨物を受付け尙代金引換付荷物の取扱をも開始す
京城　本町荷物取扱所　本町二丁目九十番地　電話二九八〇番
仁川　本町荷物取扱所　本町四丁目一番地ノ五　電話三〇八番
釜山　辨天町荷物取扱所　辨天町二丁目九番地ノ一
平壤　大和町荷物取扱所　大和町十一番地

日韓書房　新版報告
栗原古城譯　新譯西洋品性論　定價一圓 送料十錢
日露協約記念　露國研究　定價一圓 送料十二錢
澁澤榮一述　論語と算術　定價一圓 送料八錢
長田幹彥著　紅夢集　定價九十五錢 送料十錢
小栗風葉著　青春　定價一圓四十錢 送料十二錢
京城本町二丁目　[illegible]

開業參年
增築落成
每々御引立を蒙り難有奉存候御蔭樣の多くなるに從ひ家屋も狹隘を感じ候に付豫て屋上を增築中の處今程愈々落成仕り候
就ては增築御披露の印として大々的勉強可仕候間何卒御來遊の程願上候尙料理の義は時節柄最も衛生に注意し材料等も極て新鮮なるものを撰み居候
長谷川町九七（電一五二五）
金谷園

■民主共和兩黨の勢力[illegible]■

米國大統領選擧期日は已に四旬の後に迫り來れり故に民主、共和兩黨の攻防の作戰は猛烈を極め殊に在野黨[illegible]▲壯觀を極むと云ふ可し今兩派の大勢を見るに民主黨は政府與[illegible]ら[illegible]ルーズベルト、ヒユースの如き[illegible]完膚なき迄に痛撃せられたるのみな[illegible]

▲大阪の成行 [illegible]

▲極東の禍亂を 日本の眼に[illegible]だしく國民の不快不滿足を買ふを免れず[illegible]の大統領の[illegible]

[illegible]和黨に對する反感より彼等の多くが民主黨に加擔せんとする事にして獨進種の勢力と進步黨の勢力とは兩黨[illegible]だけ其失敗を非難せらるゝの不利益の地に立つが故に今回の選擧は非常の番狂はせなき限り殆んど同程度の

●遼河を越えて何方へ

蒙古軍の行衞＝兇漢の無い國の人々

成吉斯汗當時の元氣はない＝

東京帝國大學講師　鳥居龍藏氏談

此の程遼河を越えた巴布札布の軍が今何處の邊に退却したかといふ御質問であるが、私は那麼說明は御免を蒙りたい、併し私の想像する處では彼等はシベリア鐵道に沿うたチ、ハルの南方又はハイラル附近に居るのでは無いかと思ふ、あの邊にはブイルノールと稱する湖水があつて

恰度興安嶺の東方

に位する所であるが以前はソロン、バラカと稱する民族の居つた所である、一體ハイラルの南方は黑龍江の上流にあたる人煙稀薄なる一帶の丘陵であつて一望際涯なき砂漠の原が橫はり滅多に人の近づかぬ所である過般郭家店を襲うた蒙匪の根據地は蒙匪の根據地であり且つ物資の供給地とも思はれるのは興安嶺の中にあるウヂムチンであらうかと思ふ、また西ウヂムチンであらう、あの邊は今でも古い蒙古の風俗を遺して居る所で牛馬の數も多く鹽を產する湖水もある、また道回滿洲に

攻め寄せた蒙古軍

の軍容は什麼ものであつたか知らぬが私の見るところでは往時の成吉斯汗時代の元氣は無いと思ふ、何故かと云へば現今の蒙古人なる者は久しい間の清朝の懷柔策に醉うて戰爭といふものをしたことが無くまた喇嘛教の敎で殺生を禁じて居るから餘程氣質が温和しくなつて居る。且また興安嶺以西の蒙古人には盜人も無ければ人殺しもなく全く惡漢といふものが居らぬから武器の必要が無いのである、例へば蒙古に往つた旅客が天幕の裡に泊めて貰ふ場合にも荷物を中に持入ようとすれば彼等は笑ひながら『私の家には荷物を食べる犬は居ない』と揶揄する位ゐである、それで蒙古人のチルグンテと稱する兵隊のある土地に於ても

兵士は馬に騎つて

長い柳の鞭を持つ位、武器といふものは全く持つて居ないのである、また西ウヂムチンの如きは王府に於ても兵備はないから、元時代の面影は今は殆んど遺つて居らぬ、且つまた蒙古人の銃器は常に二脚の臺を有つて居つて射撃の場合には臺にのせて發砲するのである、それでむかしのマルコポーロの旅行記などにある蒙古の鐵騎が殆んど馬と乳さへあれば無人の野を行く如く戰ふといつたやうな元氣は今では全く見ることが能きないあの往昔全亞細亞を震撼せしめた成吉思汗の當時は蒙古の男子は皆外征に赴き妻は家にあつて立派に留守を守つたものである、然るに今では女ばかりが元氣であつて

男子は總て平和に

墮落したやうである、彼等の多くは遊惰これことゝしクミス（馬の乳で釀した酒）に醉ひつゝ馬頭琴を奏で居る、併しながら彼等の中にも蒙古の民族性は依然として遺つて居るから將來また標悍な戰士とならぬことはあるまい現に蒙古人の騎馬に巧みな事は殆んど人業と思はれぬ程で曾て日露戰爭に奮戰したロシヤのコサツク兵には蒙古のブリヤート族も居つたのである以上は主に蒙古奧地のはなしであるが翻つて東部滿洲側に接した蒙古人は全く支那人同樣になつて居る、道回南下した巴布札布の軍には

無論滿洲境の蒙匪

も居るが彼等は精巧な武器も有ち且つ天幕を捨てゝ支那式の家に住み、支那語を用ゐて居る、猶ほまた往々馬賊にも襲はれるから相當な兵備も有つて居る、併し彼等は純粹な蒙古人ほど質朴でなく云はゞ惡摺に摺れて居る方で生活は無論農業でたて且つまた騎馬の代りに主として車を用ゐて居る、然るに奧地の蒙人はむかしから遊牧の民であり且つ農業を卑しむ風があるから自分等は

貧乏しても彼奴等

のやうに農業は爲ないと威張つて居る且つまた車に乘るをも蒙古人には悅ばれず『俺等は馬には騎るがまだ車には乘らぬ』といふのは支那化した蒙人を輕蔑する言葉となつて居る

●兇賊死刑

部下悉く重罪に處せらる

江原道麟蹄郡麟蹄面寺洞生れ慶北奉化郡楊野面佳坪里居住の金鍾鐵（三七）は金鍾植、金鐵、金允玉等の變名を用ゐて排合前暴徒の首魁となり江原道原州郡貴來面堂隅里生れの金鍾根（三九）を副將として

▲多數の部下を 有し何れも變名せしめて各所を橫行し居れる內部下の賊徒は漸次檢擧處罰せられたるも尙其の一部なる江原道橫城郡晴日面兵三場里生れの龍海俊（三二）同道洪川郡泳歸美面魯川里生れの李洛汝（二九）同面座雲里鄭泰用（一七）橫城郡甲川面上琴倍里崔順實（三六）同里張在先（三九）橫城郡晴日面兵三場里鄭旭永（四八）同面春堂里張命壽（三五）同面兵三場里鄭大成（三二）橫城郡甲川面上琴倍里金洛源（四一）麟蹄郡麟蹄面上南里金元實（四三）等は巧みに姿を晦ましゐたりしが江原道警務部にては是等の

▲殘黨を一掃 せんと管內の各憲兵隊警察署に嚴探せしめ昨年より本年夏頃迄に前記の者等を檢擧したり首魁金鍾鐵は明治四十三年舊三月十日夜江原道麟蹄郡々內面所關里居住の金時元なる者が當時同面の面長として彼等賊徒の行動を官憲に密告して檢擧の手引をなしたりと聞知し多數の部下を率ゐて同人を

慘殺したる上同人居宅

に放火して燒き拂ひたるを手初めに江原道全郡に亙り前後二十

數回に亙り殺人、强盜、放火等有ゆる暴威を振ひて人民を恐怖せしめたるものにて京城地方法院に於て豫審取調べを終結し此程左の如く判決を受けたり

▲死刑 金鍾鐵、金鍾根 ▲無期懲役 張命壽 ▲懲役十五年 鄭大成、金元實 ▲十二年 龍海俊 ▲懲役十年 李洛汝、崔順實、張在先、金洛源 ▲鄭泰用、鄭旭永、兩名は證憑不十分にて無罪

英軍前線の飛行隊

●死刑の控訴

支那間島龍井村福壽洋行に雇はれ中同店の主任岸本銀藏雇人李光善兩人を殺害し馬賊の所爲の如く裝ひたる長崎縣南高來郡山口村生れ岩佐米市（二一）に係る殺人事件は一審に於て死刑の宣告を受け京城覆審法院に控訴中の處棄却されたり

●渡邊專次郎氏逝く

三井物產會社重役渡邊專次郎氏は二十七日心臟病を以て逝去したり氏は神奈川縣平民顯武二男にして嘉永元年出生、東京高等商業學校第一期卒業生にして卒業後直ちに三井物產會社橫濱支店に在勤を命せられたり之れ氏が今日の地位と資財とを贏ち得たる發足點にして當時我國の外國貿易は全く受動的にして進んで國產の海外輸出を企つるが如き者一人も無かりしが氏は橫濱支店在勤中外國人より親しく貿易取引の實地を習得し遂に三井物產會社をして外國貿易に着手せしむるに至り氏は自から進んで倫敦支店長となり會社の爲に大いに盡す處あり倫敦に於ても又上下の信用厚く同地に於て英人を娶り歸朝後三井重役に任ぜられし後も又久しく倫敦に勤務し現に三井銀行取締役、三井合名會社參事三井物產會社業務取締役たり

●北陸線鳴動

軌道龜裂

汽車不通となる

北陸線以東小川、直江津間筒石驛附近二十七日朝鳴動プラットホームの前方百五十尺の地點より北に向け三百尺に亙る軌道に龜裂を生じ線路弛みて弓の如く二十一尺海岸へ押し出し國道は蜿りを打ちて之れ亦海へ突き出で汽車不通と爲る（大阪特電）

●仁川貧困者救助會の組織

仁川警察署にては二十六日管內面居住者內地人四名鮮人重立者十三名を面役所に召集し本月廿日虎疫發生以來に於ける防疫狀態を詳細說明し此際官民協力して豫防に衞ると共に貧困にして隔離せられたる患家に對しては極力之が救助をなさざる可らざるも此れが費用は慈善家の義捐に俟つの外無きを以て各自應分の醵金すべき樣慫慂したるに何れも滿腔の誠意を以て賛同し直ちに臨時宮內罹病者救助會を組織し八條より成る規約を設け委員長には藤原方明會計李大泳幹事任董淳、李光泓の諸氏を選擧し同時に左の寄附方申出たり

李吉龍三十圓、朴承日米二石、崔龍培九圓、藤原方明、萬市[illegible]各[illegible]十圓、朴[illegible]五圓八十錢、趙九鉉三圓、渡邊[illegible]、李大泳、鄭雲鶴、李思[illegible]、李[illegible]、崔成[illegible]、池[illegible]各二圓、外二名

●廿五名溺死か

漁船遭難後報

下關林兼組第二西海丸が播州赤穗の漁船三十一隻を曳きて二十二日六連島を發し釜山へ渡航の途中大强風の爲め曳綱を切られ十五隻と九十餘名の漁夫行衞不明となり釜山署に於て鯨丸を出動せしめ遭難者の搜索中なりし事は既報の通りなるが其後二十五日迄に三十一隻の內二十一隻は入港したるが五隻は難破せしため殘りの五隻に乘組漁夫全部移乘したるものなる事判明したり然るに五十一名の內廿五日午後統營より釜山署に廿二名の遭難者避難し來りたる旨電報ありたれば尙餘す所三隻と廿九名の行衞不明を搜索中廿六日午前九時釜山署に又復巨濟島より帆破れ舵折れたる漁船と四名の乘組員を發見せる旨通知あり結局一隻と廿五名の行衞不明となれり（釜山）

▲女教師は眞性 仁川山手町六[illegible]官立仁川高等女學校教諭矢野なほは仁川病院に入院中眞正虎列拉と確定二十七日午前九時直ちに隔離病舍に收容され同時に同校も大消毒を施したり

▲仁川魚の密賣 仁川に於ては漁獲物販賣を嚴禁したる結果漁夫中には漢江方面にて此れを販賣しつゝ行りとの風說あるを以て警察署にては直ちに事實調査を各方面に移牒したりと

▲防疫費へ寄附 仁川新町二十六番地[illegible]福定氏は二十七日長男某の忌明となり親族知己に對し配附すべき費二十五圓を防疫費中に寄附方申出で同龍岡町百十八番地沈能在氏は五十圓を同費に寄附したり

▲鎭南浦防疫の解除 鎭南浦に入港したる湖州丸船員の虎疫携帶者は檢鏡の結果無菌なること判明し防疫手配の解除を爲したり（平壤）

▽呂昇廿八日乘込 女義界の人氣を一身に集めつゝある豐竹呂昇一行は愈二十八日夜京城着、竹本東廣外一行十五名と共に華々しく城に乘り込み三十日より五日間有樂館に開演すべく同人の朝鮮興行は始めてなれば定めし人氣を博する事なるべし

▽大正館 二十六日より全部新寫眞と差替へたるがその主なるものは左の如し ▲滑稽[illegible] ▲實寫エクレール週報 ▲喜劇大の謹愼 ▲探偵活劇倫敦暗黑面四卷六千呎 ▲新派悲劇[illegible]三卷 ▲義士劇武林唯七三卷百二十場

▽市十郎は廿九日 大阪名題俳優市川市十郎、片岡緑左衞門、中村雁十郎一座は既に釜山に乘り込みたるが愈々二十八日夜京城に乘込み翌廿九日より壽座に開演する筈なるが久し振りの名題芝居の事とて前景氣盛んにて東亞朝鮮兩新聞社の總見ある筈にて市十郎乘込みの際は座方は勿論、花柳界その他の關係者は停車場まで出迎へを爲すべく然して初日の狂言は式三、引拔きだんまり、一番目伽羅千代萩竹の間より對決まで切扇屋熊谷扇屋より五條橋までにて重なる役割左の如し

翁、政岡、且元、折子、小萩實は政盛（緑左衞門）△三番叟、民部、桂子（長吾）△千歲、松島、駒井源吾、折子（長之助）△沖の井、女房（慶女）△鶴千代（春江）△高退八郎、八汐、上總雁十郎（雁十郎）△千松（寬丸）△小卷、榮御前、折子（九十郎）△難波次郎、加藤太、銀兵衞、律場忠太（國太郎）△達摩三郎、松前鐵之助、渡邊外記、姉輪平次（玉五郎）△天笠德兵衞、仁木彈正、熊谷直實（市十郎）

▽名金終編 黃金館の歐洲實戰寫眞は二十七日までの筈なりしが次興行地の都合により二十六日を以て打揚げ二十七日より差替ゆたるが例の好評を博したる名金は今回を以て終了すべきを以て二十篇より二十二篇までを上場すべく七月上旬より連續上場して好評を博したる同寫眞も愈々終りとなるべく亦幾きに好評を博せる奈良勝も出演すべし

▽有樂館 ▲實寫佛國に於ける鐵工場 ▲滑稽ピンプルと警話 ▲冒險活劇總稱名金六卷 ▲新派連鎖劇小夜子全三卷 ▲舊劇義士銘々傳赤垣源藏全二卷 活動寫眞の餘興として出演の吉田百々花、同奈良子の浪花節が呼び物となりて連夜大入

コレラ彙報

▲忠南 九月廿一日忠南瑞山郡安興津の沖に[illegible]內地人漁夫[illegible]病に罹りコレラの疑あり瑞山海岸に停留隔離せり又廿三日瑞山郡安興面新津島漁船內に隔離中の[illegible]崎由郎の長男金四郎（八つ）は午前一時發病し檢便の結果多數のコレラ菌を認め廿五日午前十一時疑似コレラと決定す（太田特電）

▲馬山 馬山港內揚山面の漁村に二名の疑似虎列拉發生したれば直に附近一帶を隔離し大消毒の上交通遮斷を行ひたり（釜山）

▲釜山驛員の注射 釜山驛にては廿四、廿五日の兩日に涉り鐵道病院より醫師出張構內食堂に於て驛員一同に對し午後一時より虎列拉豫防注射を施行せり

▲高陽郡に發生 高陽郡龍江面倉前里二十八統八戶關丙憲（一四）は二十三日發病檢便の結果眞正患者と判明したるを以て同人は順化院に收容し居宅は二十五日午前京城分隊より數名の憲兵及び宮地警察醫出張して大消毒を勵行し家族十六名の隔離健康診斷等を施し尙附近數戶に對して隔離の上交通遮斷をなしたり

▲劇場の消毒 本町警察署にては管內所在の劇場其他に對し當分の間每日開館前適當の時間內に於て警察官憲の指揮を受け嚴重なる消毒をなすべく示達したり

▲府廳の講演會 京城學校組合にては既報の如く愈々來る二十九日より生徒の豫防注射を行ふことに決定したるが更に二十七日午後三時より府內の公私立學校長一同を府廳に集め虎疫豫防に關し羽田公醫より詳細なる講話を爲し追て其要項を印刷に附し各校に配布すべしと

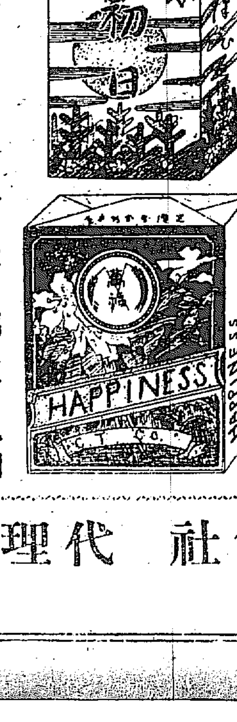
□大阪名代市川市十郎大一座觀劇大優待□

煙草の御土產進呈

市川市十郎一座大歌舞伎
自九月廿九日　至十月八日
十日間於壽座開演

關西名代の老優にして天下に名俳優として稱揚されつゝある七十歲の高齡老熟の技倆一世一代二度と見られぬ此の好機會を見逃し給ふな

◎入場券左記賣店にて御需の御方には漏れなく景品進呈



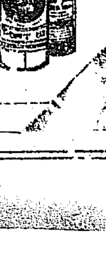
□特等　はつひ三包　萬福三包□
□壹等　はつひ二包　萬福二包□
□貳等　萬福……二包□

●入場券販賣店
壽座上る三軒目　下山商店
壽座下る三軒目　三根屋
壽座前　牧野商店
壽座上る左角　玉屋支店

煙草の御土產進呈

□朝鮮煙草株式會社　代理店　板倉支店□

惡疫流行の今
生命の安全を絕對に保證するものは
七大醫學博士の賞讃を博せる純生粹葡萄酒
赤玉ポートワイン なり



純良なる赤玉葡萄酒の偉大なる
殺菌力は直ちに惡菌を撲滅し
て諸氏を確實に健康地帶に置く

女鳩

渡邊默禪

「一二七」優しい心

子爵や源作と團欒になつて酒を飲みながら談話を交はしてゐた生駒は、大野が小屋の外へ出てから間もなく鳩子が外套と帽子とを取つて、そつと子爵の背後を通つて去つたのを見て、これは變だなと氣がついた。源太の消息が絶ゑたので何となく不安の思を持續け、好きな酒もおち／＼喉へ通らぬほどに神經を鍊立たせてゐた彼は、誰かに意味があることだと思ふと其儘凝としてはゐられなかつた。で、園へ立つ假態をして屋外へ出て見ると、ちやうど二三十間先の谷蔭に松明の火が動いてゐた。その紅い光に映る二つの人影がどうやら鳩子と勇のやうに見ゑたので、急いで小屋の外壁にかゝつてゐた誰かの簑と笠切（萆を編んだ鐵巾頭のやうな帽子）とを取つた。さうして手造にそれを差込んで、松明の火を目標に跡から追覓けた。

二人は生駒に跟けられたとは心注かなかつた。彼は最う五六碼の先まで追つて來て、落葉松の陰に躲れながら耳を欹てゝゐることを意識させる機會は、不幸にして二人の五感に觸れなかつた。

『困りますなア、そんな女々しいことを被仰つちやあ』勇は苦い顏をしながら云つた。『秀さまが可哀想だの氣の毒だのと言つてゐられたんではこの問題の解決がつきませんぞ。一體何が可哀想なんです。些とも可哀想なとがないぢやありませんか』

『あら、什麽して』目を睜る。

『元來が外人の遊蕩兒と女優との仲にできた私生兒でせう。既に素性からして賤しい女です。その賤しい女が二十年の間、假にも子爵の令孃として取扱はれ、非常な優遇をうけたとが分外の幸福です。で、自分が子爵の血統でないとが分つたならば、先づ其の點から大いに感謝して、慚愧して子爵の處分を待つべきでせう。何も恐れもし嘆きもし、心から謝罪るにです、住江さんの手紙によつて見ると、母の輝子から何か言はれると直と其氣になつて、子爵家に對し復讐をしてやると放言したといふぢやありませんか。復讐とは何です。二十年間養育して貰つた大恩恵こそあれ、何の怨があつて復讐するですか。盗人の逆さ怨、猛々しいとは此事です。加ふるにさ。普通の人間ならば最う假裝會どころでない、ダンスどころでない。直と病氣の披露でもして其場で解散するのが當然だのやないですか。平氣でダンスを演つたといふに、そして翌日鈴木老人を脅迫して、數百圓からの費用を拂はせたといふぢやありませんか。是だけの事實を聞いても、あの秀子……いや、秀さまに何等の反省も悲みも

痛快な響がその舌から火のやうに散つた。と徐かに聞いてゐた鳩子が

『それは可哀です。だけども秀さまばかりを咎めるのは慘酷よ。輝子といふ母が傍にゐて、いろんな敎唆をするから秀さまもつひそんな自暴になつたので、母の方にこそ罪があれ秀さまは爾う酷ましく責めなくともよいだらうと思ひますわ。人には誰だつていろ／＼な誤解といふものもあるし、その誤解のために正しい道を踏外す場合もよく有ることですから、姉さまの心にもなつて考へて上げなければなりませんわ』

『姉さま？貴女はまだ姉さまだと思つてゐられるですか』

『え、何ですかね、私し、どう考へても姉さまばかりは、他人だとは思はれませんのよ。ですからつひ口癖が……』鳩子は恁う言つて目を伏せた。その睫毛からほろりと一雫。

内科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑 本町二丁目浦尾旅舘前電話七四二番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

新刊紹介

●男女英學生就職之福音（前田健志、石渡敬枝共著）中學校若しくは高等女學校卒業程度の男女がタイピストとしての就職方法及び其の修學上の注意經路等を實際の經驗から記したものでタイピストたらんとする者には無二の好指針である（三十錢東京市神田區駿河臺西紅梅町甲實出版社）

▲殺活自在處世禪（丸山小洋著）反省内觀の價値、正道履践の端的、勤勉努力の三昧、解脱超越の妙趣の四章に分け和歌俳句、俚諺格言、漢詩逸話等を引用し日常卑近の實例や逸話等に依つて禪の妙味を說いたもので能く思想上哲學上社會問題等に觸れた處世上の精神修養に資すべき好著で實例の豐富なのと筆端の自在なのは興味津々讀者をして聊も倦怠を感ぜしめない（六十錢東京市日本橋區濱町二の二須原屋）

▲隨鷗集（九月號）夏季の詩數十篇の外葆光集、風雅餘談、老杜詩講等を收む（二十五錢東京府下千駄谷町五二四隨鷗吟社）

▲青年文壇（創刊號）評作、唱歌、隨風、桂月、小波其他現代知名の文士の執筆に成る各種の文藝修業の記事を載せたる外長詩、短詩、短文、俳句、小說等を收め猶特別大懸賞募集を發表せり（十二錢東京牛込區神樂町一ノ一東亞堂）

▲大日本農村協會々報（第百二號）新に農學博士横井時敬氏を會長とし農村救濟論の流行（會話）同都據濟顧問對同、所謂農村の救濟（本多林學博士）發展策の眼目『三村林學博士』農場雜感（原農學博士）等の外有益にして趣味に富める記事多し農村在住者の爲め絶好讀物ならん（見本無料送付東京市牛込區矢來町九番地同會發行）

商況

第二版

△二十七日後場（値頃買高なる…氣配されし）

	當限	中限	先限
寄付	一三三、三〇	[illegible]	一三、五七

圓九十四錢先十二圓五十錢と六錢高に寄付たるも戻りは賣物多く折押大阪の四圓十錢丁度と安移りに四十六錢と押したるが押目は又買物あり…

受けたるも一向氣勢…ただ皆折る成行を繰り返すならん

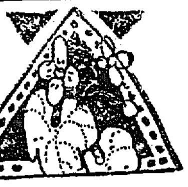
所に漁村丹た賣り返し居る場合一朝ことが反動たるあり…

廿七日の十一月限

九月限 二萬千石

十月限 七千石

東海岸高抹山角に建網を敷下したるも意外の漁獲を收めしより本秋季里の沿岸にて卅餘箇所に進し…漁網投下せらるゝもの二十餘箇所



▲現今の御婦人全躰の要求にぴつたり適ふた新發明化粧料!!

2576,129,9

▲舊式化粧の不完全

多くの婦人の化粧顏を見ると成程之は美しくできてゐると感心できるのは誠に少い。無暗にコッテリと白ペンキのやうな斑になつて白黒入交つたのが多く、又肌理の荒い人の化粧は白粉が浮いて、白粉は白粉、顏は顏と全で別々になつてゐます。色の黒い人のはじめ黒いやうな又赤土の泥い様な色をしてゐます。斯ういふ風で、天然自然に色の白く肌理の細い人以外には、滅多に美しいお化粧顏が見かけられないのは何故でせうか。

▲罪は両方にある

遠慮なく言へば其原因の一つは婦人側にあります婦人は未だ一般に進化した化粧法を御存知なく、白粉を水で溶いて、中々巧く伸びないのを一生懸命に時間と手數とを掛けて何うやら顏をペンキ式に仕上げ、其れを更にざつと拭落して、稍白粉に馴れた顏の生地へ今一度白粉を用ひるといふ様な不經濟と骨折をします所が一方また白粉の方は、世の中がこれだけ進歩してゐながら、何人にも能く馴れて極く自然的に着くといふ風なのがありません。で、化粧品の不完全と化粧の技巧の不完全とが原因で、美しいお化粧顏が少いのです。

▲不思議な作用

で、何うもお化粧が思ふやうに美しく行かぬ、けれども格別これぞと言つて良い物も見つからぬが併し何か無いものだらうか、と現今の婦人は知らず識らず何か新しい品を要求し始めました丁度その處へ現れたのが白色美顏水です一口に言へば白色美顏水は液狀の白粉です、と言ふと、なんだ其れでは珍しくもないと貶して終ふ人もありませう。然ういふ方には矢張ろ舊式にお化粧なさい、而して外の人達が本品で美しく手疾く氣持よく不思議に見事にお化粧するのを指をくはへて御見物なさいと申上げるばかりです。

▲どんなもの？

併し白色美顏水ツて甚麼もの？と熱心にお尋ねの方にお答すると、白色美顏水は桃谷研究試驗部の學者が發見した極く有効な新美容劑其他の高貴な美容原料へ、或特種の白粉を溶かし込んだもので、普通の水白粉のやうに、唯の水と白粉とを混ぜたものでは在ません ですから凡そ白粉と名の附くものは大なり小なり顏を荒す者が多いが本品にはそんな懼はありません。白粉を着けた後は顏の地が氣味惡くベタ／＼するものですが、本品は後でサラリとして爽かに氣持が快く、又白粉を始終多量に着けた人は、年とつてから顏の地が非常にキタナクなるものですが、本品には美容原料が白粉と相伙つて一層美容の力を强め、顏の地を根本から綺麗にする作用があります。

▲モツト不思議

けれども白色美顏水にはモツト不思議な作用があります。其れは本品で化粧すると、然ど化粧したとは見えぬ、殊に薄く着けた時など、何うしても天性色が白いとより外見ゑぬ事です。之は其含む白粉に一種のツヤがあるのと、其白粉が被覆力と言つて皮膚を掩ふ力が强いからです。又便利な事には厚化粧をする時に本品で白粉を溶けば不思議に能くのびて能くつきます。

▲學者が自慢の品

色の黒い、又は肌理が荒くて化粧の美くできなかつた人の心配、及び化粧を一層美しくなく自然に綺麗いと言ふ一般の要求は斯うして白色美顏水で始めて滿されました。美顏水本舖桃谷研究部の顧問丹波山本二博士、主任谷桃谷小磯藤三藥學士何れも自分で造つて自慢も如何だが之は確に成功だと言て自信を示してゐます。然ればこそ發賣匆々から非常な歡迎を蒙り今では何處の御家庭にも必要品となつて居ります。定價一瓶試拾錢試して決して御損のない事を斷言します。若し品切れの時は大阪本舖桃谷順天館へ送料八錢添へて御注文下さればお送り致します。

京日案内

普通一回前金一行（一行二十二字）二十錢 番外一回前金一行六十錢
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎募集 事務員 外務員 女集金員 至急本人來談あれ 大和町一の四八朝鮮寫眞通信社 407

◎金融 月收の御方へ信用極秘 立替御眼伺上候 京城 大和町三 不老湯前横丁下る起木屋 404

門生入用 十四五歲の内地人にして市内に保證人ある者 寫眞舘 408

◎貸家 光化門通遞信局通用門前 電話二三三六番 409

▼古本品拂底に付特に高價買受候 本町二丁目電二五二七〇ツヅボヤ書店 165

◎店員入用 年齡十八歲以上 本人來談保證人を要す 龍山電車終點前 總屋雜貨店 297

◎看護婦募集 派出多忙に付き至急 明治町二丁目 大和町一丁目四十五 愛看護婦會 295

◎産婆 小林カツ 電話一一五五番 288

◎英國製拾二番口連銃附屬品一切 安價にて讓る御希望の方は 電話一千〇十六番へ

◎松汀里光州間自働車は凡ての列車に聯絡す ▲光州加藤自働車運輸部

◎古本熱心高價買入御報參上 ◎是非御試食を乞ふ 電話二七八一番 本町四 昔時祥書堂 211

◎貸家 商店向き 電話付（縁合社） 28

番外

◎見習店員採用 年齡十六歲より十八歲迄高等小學校卒業程度の者二名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ 但市內に確實なる保證人要す 南大門通一丁目 三國商會 401

▲各種鑛物分析 京城太平通二の二三（朝陽分析所）電話二八三 松永分析所

鮮語 新學期 十月二日開始 三ケ月修業 京城青年會 402

英語 各級募集 外國人教師出講 南大門通一（漢城銀行前）京城青年會 403

店員入用 十九歲以上二十六歲位迄商業に經驗あるもの數名希望者來談 市內に確實なる保證人を要す 京城本町ちゝぶや 電八九〇番 405

コレラ豫防と電話 消毒器 何より肝要です 黃金町三 電話一四二五 巴商行 406

インデアン自働自轉車 七馬力半 讓渡し御希望の方は京城永樂町一丁目商品陳列館前半丁程上る西 中西物所 293

◎京城春川間行自働車 貨金片道四圓 每日午前八時出發 南大門通一丁目 廣橋自働車 電話二一九番 主務 金正淵 195

◎はねつき（うちみ）くじき等一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 179

△南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 松岡倍七 287

女店員入用 至急 小學校卒業の者年齡十八歲以上 市內に確實なる保證人を要す 京城本町一丁目 津村兄弟商會 290

屢々 高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車
御大典記念特製品（名古屋岡本製作所製品）
エンパイヤ號自轉車
純英國製 品質優良二大製品 鍾馗タイヤー
日本製優等品 カクダイタイヤー
直輸出入商 發賣元 鈴鹿商店 京都本店 自轉車部
朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町二丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

新刊書御案内

書名	著者	定價
◎露國研究	教育學術研究會	一、〇〇
◎世間學	波六	九五
◎日本偉人大獄院殿御實記附錄		一〇〇
◎青年資料有德院殿御實記附錄		一〇〇
◎深林	前田夕暮	九〇
◎受験必携朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
◎同 朝鮮行政法規大意	同	四〇
◎同 會話譯文速成	安達大壽計	四〇
◎同 法律問答	阪上網吉	四〇
◎同 法律講義	阪上網吉	特七五
◎果樹栽培指南	朝鮮總督府	二五
◎土地調査 朝鮮地質鑛産圖	同	八〇
◎警務總監部巡查受驗提要	永野清	特四五
◎朝鮮鑛業要覧	朝鮮鑛業研究會	一、二〇
◎トルストイ叢書 我が宗教	生田長江	七〇
◎紅夢集	長田幹彥	九五
◎社會に對する醫師の警告	新家平外	八五
◎人生向上 悟りの道	渡邊紹由	九〇
◎山室機恵子	山室軍平	三〇
◎日記から	佐々木敬雄	八〇

大阪屋號書店 京城本町 電六八四 二〇八六 振替京城二五七

物品購買公告

一 生石灰四百叺（一叺十六貫入）

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府内ニ於テ國税、地方費、府税、學校組合費年額拾圓以上納ムル者ニシテ一年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

右大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ納入期日等承合ノ上十月二日午前十時限リ同會計係ニ入札ヘシ即時開札ス

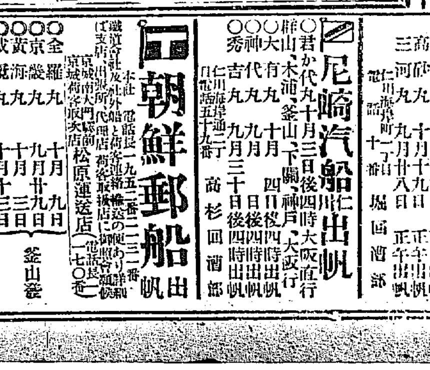
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正五年九月二十五日 京城府

購買

藁 詳細ハ本月二十七日以降ノ朝鮮官報ニアリ

成興陸軍倉庫



いろ／＼試して見たが一番よい香水はやはり

宮内省御買上 原料香水

オリヂナル

百花の精を集めたる香水の素

●御注意● 安藤井筒堂のオリヂナルは悉く名義なき原料香水で御求めの際は御注意を乞ふ

●定價 一小瓶三十錢 ●中瓶六十錢 ●大瓶一圓二十錢 ●一斤一圓四十錢 ●懐中用

東京 安藤井筒堂 大阪 藤森源之助 關西總代理店 カネオール本舗

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行（關東都督府命令船）第一共同丸 九月二十九日後四時入港 十月一日正午出帆

鎭南浦芝罘間に寄港す大連にて南滿洲鐵道會社各線連絡輸送荷物取扱候

○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第二阪田丸 月 日

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部

仁川代理店 春日町 電話二四四七番 田口回漕部

元山代理店 南大門 電話二六八・二〇一七 河村運送店

京城取次店

大阪商船仁川出帆

（外航所屬航路を除く）

○鮮山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 須磨丸 十月四日 後五時出

○安東丸 十月一日

×天智丸 十月七日

×木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 十月四日 後二時出

△信濃川丸 十月二十日

群山、釜山、横濱行 帆州丸 九月三十日 後二時出

南浦、神門、大阪行 漳州丸 九月廿九日 後二時出

鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿九日 後二時出

信濃川丸 十月十五日

大連直行 稲州丸 十月三日 正午出帆

潮州丸 十月十五日

鎭南浦行 天智丸 九月 日 正午出帆

清津、浦潮行（元山出帆）印 城津、西湖津ニ寄港 浦潮不寄港

安平丸 十月六日 後二時出

宮島丸 十月十二日

上海、芝罘（大連出帆）基隆 北丸 十月廿六日 後四時出

湖北丸 十月十一日 前六時出

大阪商船會社仁川支店 電話二〇番

京城切符發賣所 内國通運會社支店

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門通 電話長一九五二番

京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇番）

○全羅丸 九月廿九日

○京畿丸 十月九日

○黃海丸 十月三日

○成鏡丸 十月十三日 門司より釜山各港寄港基山間航路 釜山發

○穩城丸 十月一日

○昌平丸 九月廿八日

○鏡城丸 十月四日 元山より各港經由雄基行 元山發

○忠清丸 十月二日

○平壤丸 九月 日 城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發

○永興丸 北久味、五里浦行 每月廿八回 元山發

○盈德丸 北浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚山鬱島行 十月 日 釜山發

○江陵丸 長生浦方魚津寄港 每日 釜山 浦項發

○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 十月六日 釜山發

○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發

○順天丸 各港經由麗水行 三日目毎ニ 木浦發

○慶興丸 各港經由濟州島行 西廻 四日 木浦發

○慶興丸 南至島經由濟州島行 十月二日 木浦發

○公州丸 各港經由濟州島行 東廻 九月 日 木浦發

○宗信丸 海州他各港經由德洞又は白翎島行 十月三日 仁川發

○江原丸 九月 日 仁川發

○麗水丸 ○曾禰丸 青島大連芝罘行 十月二日 仁川發

○金州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 每日午前 仁川

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

○君が代丸 十月三日後四時大阪直行

○有光丸 十月四日後四時出帆

○大代丸 九月三十日後四時出帆

○神吉丸

○秀吉丸

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、芝罘、天津行

相模丸 十月九日 正午出帆

高砂丸 十月十九日 正午出帆

三河丸 九月二十八日 正午出帆

仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部